



 WACOAL HOLDINGS CORP.

## 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月9日  
株式会社ワコールホールディングス

皆さま、こんにちは。株式会社ワコールホールディングス代表取締役副社長執行役員の宮城晃です。  
この度は決算説明動画をご覧いただき、誠にありがとうございます。  
それでは、ワコールホールディングスの2024年3月期 第3四半期の決算につきまして、ご説明します。

## 1. 24/3期 第3四半期会計期間（10月～12月）の概況

まず、直近3カ月、10月～12月の実績をご説明します。

## 24/3期 3Q（10月～12月）エグゼクティブサマリー

売上収益  
**463億円**

<前年同期差>▲1億円（▲0.3%）  
<修正計画差>▲42億円（▲8%）  
<当初計画差>▲65億円（▲12%）

▶ 主要各社ともに秋冬商戦が低調に推移した結果、修正計画を大きく下回る

(単位：億円)

	24/3期 上期			24/3期 3Q		
	実績	前年同期差	計画差	実績	前年同期差	修正計画差
ワコール事業（国内）	473	▲16（▲3%）	▲39（▲8%）	253	▲5（▲2%）	▲16（▲6%）
ワコール事業（海外）	350	▲0.6（▲0.2%）	▲28（▲7%）	153	+6（+4%）	▲23（▲13%）
ピーチ・ジョン事業	55	▲5（▲9%）	▲8（▲12%）	26	▲5（▲15%）	▲6（▲20%）
その他	73	▲2（▲3%）	▲4（▲6%）	32	+3（+11%）	+4（+13%）

事業利益  
**11億円**

<前年同期差>+5億円（+80%）  
<修正計画差>+12億円（-）  
<当初計画差>▲9億円（-）

▶ コスト削減や販促費の期ずれにより計画超過（対修正計画 売上利益▲28億円 販管費▲40億円）

(単位：億円)

	24/3期 上期			24/3期 3Q		
	実績	前年同期差	計画差	実績	前年同期差	修正計画差
ワコール事業（国内）	10	▲7（▲42%）	▲1（▲11%）	17	+13（+394%）	+5（+48%）
ワコール事業（海外）	23	+5（+29%）	▲3（▲12%）	▲3	▲8（-）	+7（-）
ピーチ・ジョン事業	3	▲6（▲68%）	▲3（▲47%）	▲0.3	▲1（-）	▲3（-）
その他	2	+2（黒字転換）	▲0.1（▲6%）	▲2	+0.8（-）	+3（-）

営業利益  
**14億円**

<前年同期差>+72億円（-）  
<修正計画差>+15億円（-）  
<当初計画差>▲0.5億円（▲3%）

▶ 前期はワコールインターナショナル（米国）に係る減損損失（101億円）を計上

3ページをご覧ください。

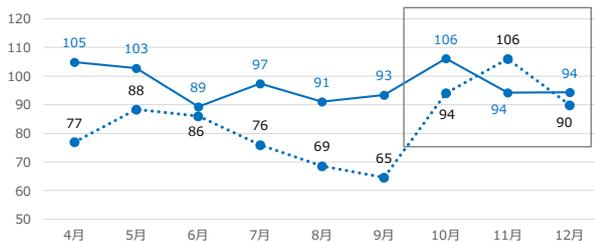
この3カ月間の経営環境は、インフレに伴う個人消費の伸び悩みもあり、国内・海外ともに厳しい状況が継続しました。主要各社ともに秋冬商戦が低調に推移した結果、売上収益は463億円と、前年同期に対して0.3%の減収となりました。また、11月9日に開示した修正計画についても、見通し数値を8%下回る水準での着地となりました。

事業利益は、減収影響を吸収すべく販管費のコントロールを各社で進めたことから11億円となり、前年同期・修正計画を大きく上回って終了しています。

## 24/3期 3Q（10月～12月）主要子会社の商況（日本）

### ワコール 3Q期間の売上推移

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む、収益認識変更の影響除く）



#### 3Q期間の売上収益（内部売上含む）

▶ 前年同期比▲2% 修正計画比▲6%

#### 3Qのトピックス

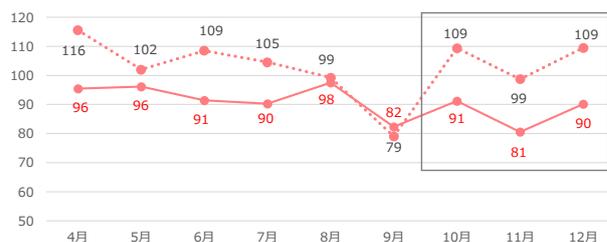
- ▶ 上期同様、高価格帯は堅調も、中価格帯の商品が伸び悩む
- ▶ 販売不振を受け、店頭在庫の調整を目的に返品高が増加

#### チャネル別の店頭ベースの売上高（増減率）

百貨店：▲6%（20/3期比▲22%） 直営店：▲3%（20/3期比▲9%）  
 量販店：ワコール ▲5%（20/3期比▲9%） ウイング ▲12%（20/3期比▲12%）  
 自社EC：+13%（20/3期比+86%）

### ピーチ・ジョン 3Q期間の売上推移

※グラフは、国内ピーチ・ジョンの社内管理ベースの月次数値（内部売上含む・受取送料除く）



#### 3Q期間の売上収益（国内のみ、内部売上含む）

▶ 前年同期比 ▲13% 修正計画比▲20%

#### 3Qのトピックス

- ▶ 有名タレントとのコラボレーション企画が低調に推移
- ▶ 優良顧客のインセンティブを高めた新会員システムを導入

#### チャネル別の売上高（国内のみ）

自社EC：▲31%（20/3期比▲11%）  
 直営店：▲7%（20/3期比+5%）  
 他社EC：+21%（20/3期比+67%）

4ページをご覧ください。主要子会社の3か月間の商況について、説明します。

ワコールは、10月に持ち直しが見られたものの、中価格帯商品の販売の苦戦が継続したことに加え、暖冬影響を受けた来店客数の伸び悩みもあり、11月・12月は低調な推移となりました。なお、修正計画に対しては、6%の未達で終了しています。

ピーチ・ジョンは、秋冬商戦にて実施した有名タレントとのコラボレーション企画が想定した結果を得ることができなかったことに加え、ECの新システム導入時に発生したトラブルによって、受注活動の再開が数日遅れた影響などもあり、3か月の売上は前年同期・修正計画を大きく下回って推移しました。

## 24/3期 3Q（10月～12月）主要子会社の商況（米国）

### 米国W 3Q期間の売上推移

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



#### 3Q期間の売上収益 内部売上含む、現地通貨ベース

▶ 前年同期比 +3% 修正計画比▲0.9%

#### 3Qのトピックス

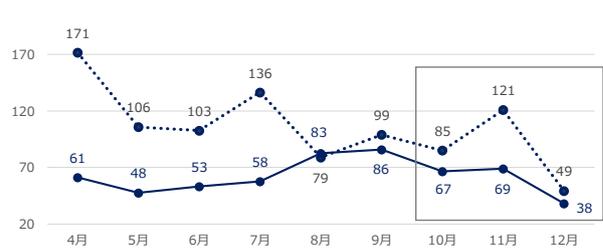
- ▶ 主要得意先の仕入抑制が緩和されたことにより修正計画ベースで推移
- ▶ 3Q期間のEC売上 +11%

#### チャネル別の店頭ベースの売上高（増減率）

実店舗：+2%  
EC計：+11%  
(自社EC:+2% 百貨店EC:▲8% 専業EC:+58%)

### IO社 3Q期間の売上推移

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



#### 3Q期間の売上収益 内部売上含む、現地通貨ベース

▶ 前年同期比 ▲40% 修正計画比▲65%

#### 3Qのトピックス

- ▶ 事業撤退の決定を受け、11月以降、割引プロモーションの実施による在庫の売り減らしに注力したものの、想定を大きく下回る

#### チャネル別の売上高（増減率）

自社EC：▲38%  
直営店：▲36%  
卸：▲49%

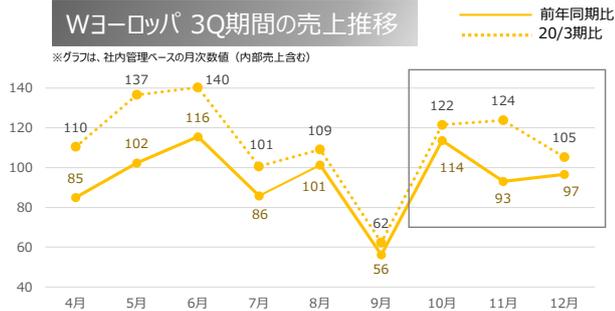
5ページです。

米国ワコールは、主要得意先での仕入抑制が緩和されたことによって、実店舗・ECともに堅調な推移となり、修正計画水準での着地となりました。一方、インティメイツ・オンライン社（以下、IO社と呼びます）については、「LIVELY」事業の撤退の決定を受けて、11月以降、割引プロモーションの実施による在庫の売り減らしに注力したものの、想定した売上を大きく下回りました。

## 24/3期 3Q（10月～12月）主要子会社の商況（欧州・中国）

### Wヨーロッパ 3Q期間の売上推移

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



#### 3Q期間の売上収益 外部売上のみ、現地通貨ベース

▶ 前年同期比 +1% 修正計画比▲12%

#### 3Qのトピックス

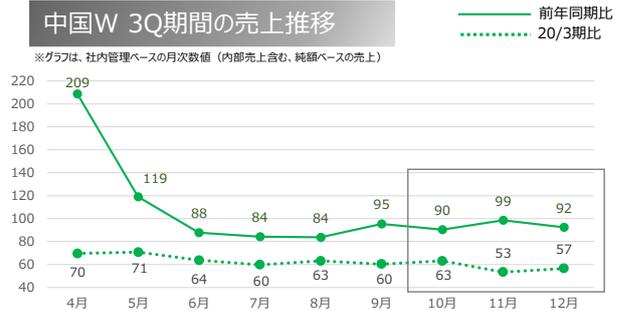
- ▶ 11月・12月の英国・欧州における売上が失速
- ▶ 9月に発生したサイバーインシデントのマイナス影響をカバーできず

#### エリア別の売上高（増減率）

英国：▲5% 欧州：▲12% 北米：+23%

### 中国W 3Q期間の売上推移

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む、純額ベースの売上）



#### 3Q期間の売上収益 外部売上のみ、現地通貨ベース

▶ 前年同期比 ▲6% 修正計画比▲27%

#### 3Qのトピックス

- ▶ 実店舗への来店客数の伸び悩みやECでの苦戦が継続
- ▶ 感染症前の8割の水準を修正計画として設定するも、6割程度で推移

#### チャネル別の売上高（増減率）

実店舗：▲0.3%（20/3期比▲39%）  
他社EC：▲10%（20/3期比▲45%）  
自社EC：+46%

6ページです。

ワコールヨーロッパは、9月に発生したサイバーインシデントから復旧したものの、11月以降は高いインフレを受けた消費意欲の低下の影響もあり、主要エリアである英国と欧州での売上が低迷しました。3か月間の売上は前年同期に対して1%の増収にとどまり、成長を目指した修正計画に対しては大幅な未達となりました。

一方、中国ワコールは10月以降、感染症拡大前の8割の水準への回帰を目指しました。しかしながら、個人消費の回復の遅れや、処理水の海洋放出後の日本製品買い控えの影響に伴う実店舗への来店客数の伸び悩み、ECでの競争激化等により、売上は想定を大きく下回って推移しました。直近3か月の商況は以上です。

## 2. 24/3期 第3四半期連結累計期間（4月～12月）の概況

続きまして、2024年3月期 第3四半期累計の実績について、ご説明します。

## 24/3期 3Q（4月～12月）エグゼクティブサマリー

売上収益

**1,414億円**

<前年同期差> ▲25億円 (▲2%)  
 <修正計画差> ▲42億円 (▲3%)  
 <当初計画差> ▲144億円 (▲9%)

- 国内：選別消費の高まりによる中価格帯商品の売上の伸び悩み
- 海外：米国は復調傾向が見られるものの、英国・欧州・中国が苦戦

(単位：億円)

	24/3期 3Q実績	前年同期差	修正計画差
ワコール事業（国内）	726	▲21 (▲3%)	▲16 (▲2%)
ワコール事業（海外）	503	+5 (+1%)	▲23 (▲4%)
ピーチ・ジョン事業	81	▲10 (▲11%)	▲6 (▲7%)
その他	105	+0.9 (+0.9%)	+4 (+4%)

事業利益

**50億円**

<前年同期差> ▲0.2億円 (▲0.4%)  
 <修正計画差> +12億円 (+30%)  
 <当初計画差> ▲15億円 (▲24%)

- 減収影響や原価率の上昇などを吸収すべく、販管費のコントロールを各社で実施

(単位：億円)

	24/3期 3Q実績	前年同期差	修正計画差
ワコール事業（国内）	26	+6 (+30%)	+5 (+25%)
ワコール事業（海外）	20	▲2 (▲10%)	+7 (+55%)
ピーチ・ジョン事業	3	▲7 (▲74%)	▲3 (▲57%)
その他	0.6	+3 (黒字転換)	+3 (-)

営業損失

**▲20億円**

<前年同期差> ▲2億円  
 <修正計画差> +15億円  
 <当初計画差> ▲78億円

- 当期は、IO社「LIVELY」事業の撤退および会社清算に伴うワコールインターナショナル（米国）に係る減損損失（74億円）を計上
- 前期は、「その他の収益」として固定資産売却益（30億円）を計上したほか、「その他の費用」として米国事業に係る減損損失（101億円）を計上

8ページをご覧ください。

売上収益は、1,414億円と、前年同期に対して2%の減収となりました。国内は、EC事業が堅調に推移したものの、選別消費の高まりを受けて、量販店などの主要チャネルにおける中価格帯商品の販売が伸び悩みました。また、海外についても10月以降、米国で個人消費の持ち直しが見られたものの、英国・欧州・中国は消費意欲の低迷を受けて、低調な動きとなりました。

事業利益は50億円となりました。減収影響や原価率の上昇をカバーするため、各社で販管費の抑制に努めた結果、前年同期とほぼ同水準での着地となりました。営業損失は、米国事業に係る減損損失を計上したことにより、20億円の営業損失となりました。なお、前年同期の営業損失についても、「その他の収益」として固定資産売却益30億円を計上した一方で、「その他の費用」として米国事業に係る減損損失101億円を計上しているため、営業損失となっています。

修正計画との差異理由については、冒頭に説明したとおりですので、割愛させていただきます。

## 24/3期 3Q 売上収益と事業利益

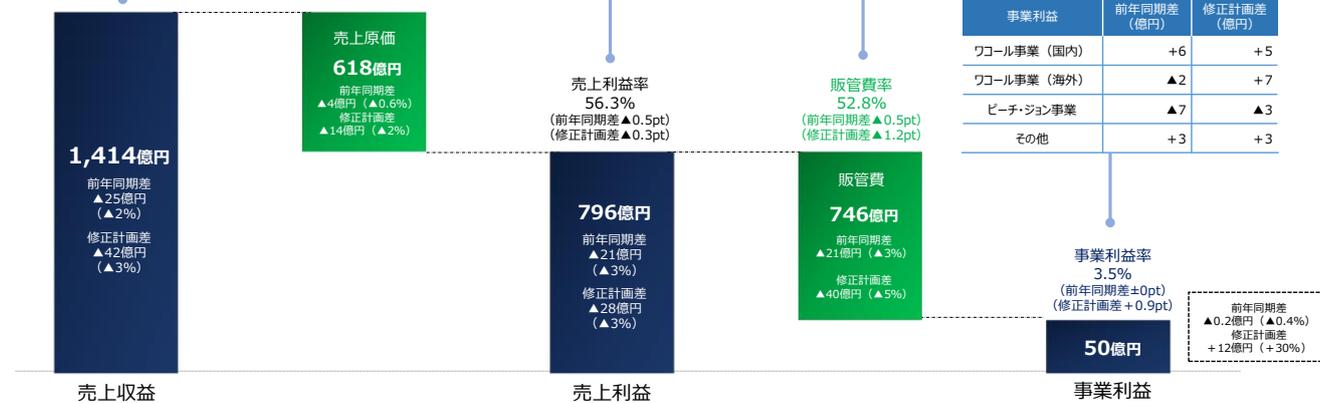
売上収益	前年同期差 (億円)	修正計画差 (億円)
ワコール事業（国内）	▲21	▲16
ワコール事業（海外）	+5	▲23
ピーチ・ジョン事業	▲10	▲6
その他	+0.9	+4

売上利益率	23/3期 3Q累計	24/3期3Q累計 実績
ワコール	56.7%	56.2% ▲0.5pt
ピーチ・ジョン 国内のみ	64.9%	61.4% ▲3.4pt
ワコールインターナショナル（米国）	50.3%	49.7% ▲0.6pt
ワコールヨーロッパ	58.8%	58.1% ▲0.7pt
中国ワコール	69.0%	69.6% +0.6pt

※ワコールヨーロッパは、ブランド償却費を除去して、算出

販管費率	23/3期 3Q累計	24/3期3Q累計 実績
ワコール	54.9%	53.5% ▲1.4pt
ピーチ・ジョン 国内のみ	49.9%	57.6% +7.6pt
ワコールインターナショナル（米国）	48.0%	47.4% ▲0.6pt
ワコールヨーロッパ	46.6%	49.5% +2.9pt
中国ワコール	78.0%	73.0% ▲4.9pt

事業利益	前年同期差 (億円)	修正計画差 (億円)
ワコール事業（国内）	+6	+5
ワコール事業（海外）	▲2	+7
ピーチ・ジョン事業	▲7	▲3
その他	+3	+3



WACOAL HOLDINGS CORP.

9ページです。

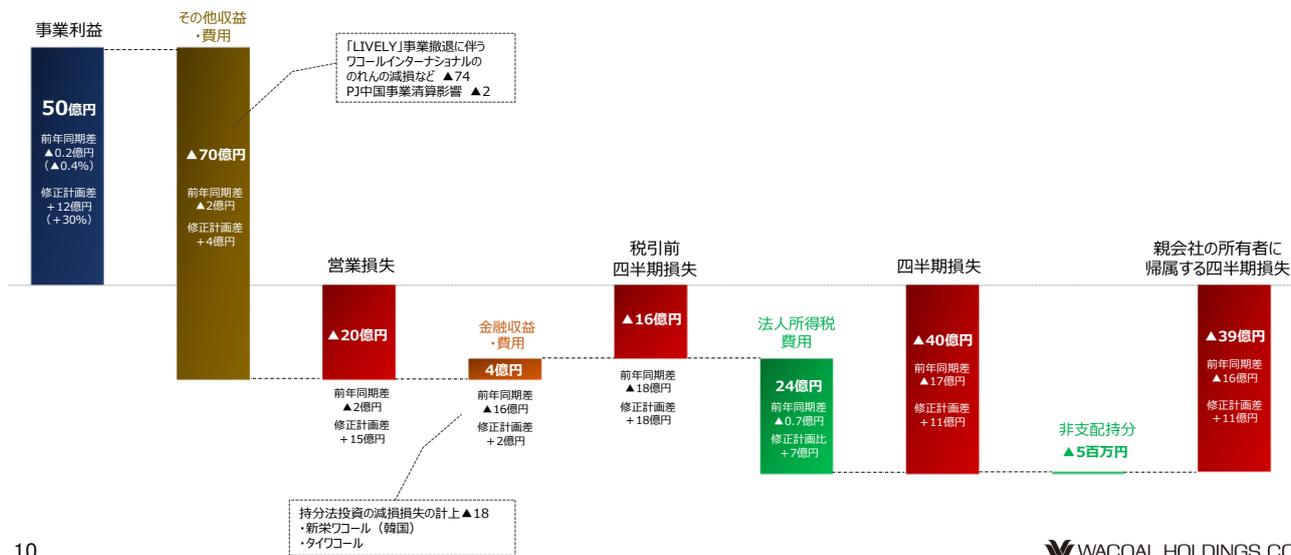
売上収益から事業利益にかけて、前年同期差の主な要因を主要子会社単位で記載しています。

売上収益は、前年同期期に対し25億円の減収となりました。繰り返しの説明になりますが、国内・海外ともに厳しい消費環境が続き、売上は低調に推移しました。売上利益は、減収や原価率の上昇を受け21億円の減益となりました。主要子会社の売上利益率を記載しておりますが、各社ともに原価高騰や評価損の計上などにより、売上利益率が悪化しております。事業利益は、売上動向を踏まえコストコントロールを徹底した結果、前年同期並みの水準となりました。

## 24/3期 3Q 四半期利益 影響項目

- ▶ 営業損益：事業利益の減益に加え、米国事業に係る減損損失74億円の計上が影響
- ▶ 税引前四半期損益：関連会社（新栄ワコール・タイワコール）の投資減損※（18億円）が影響

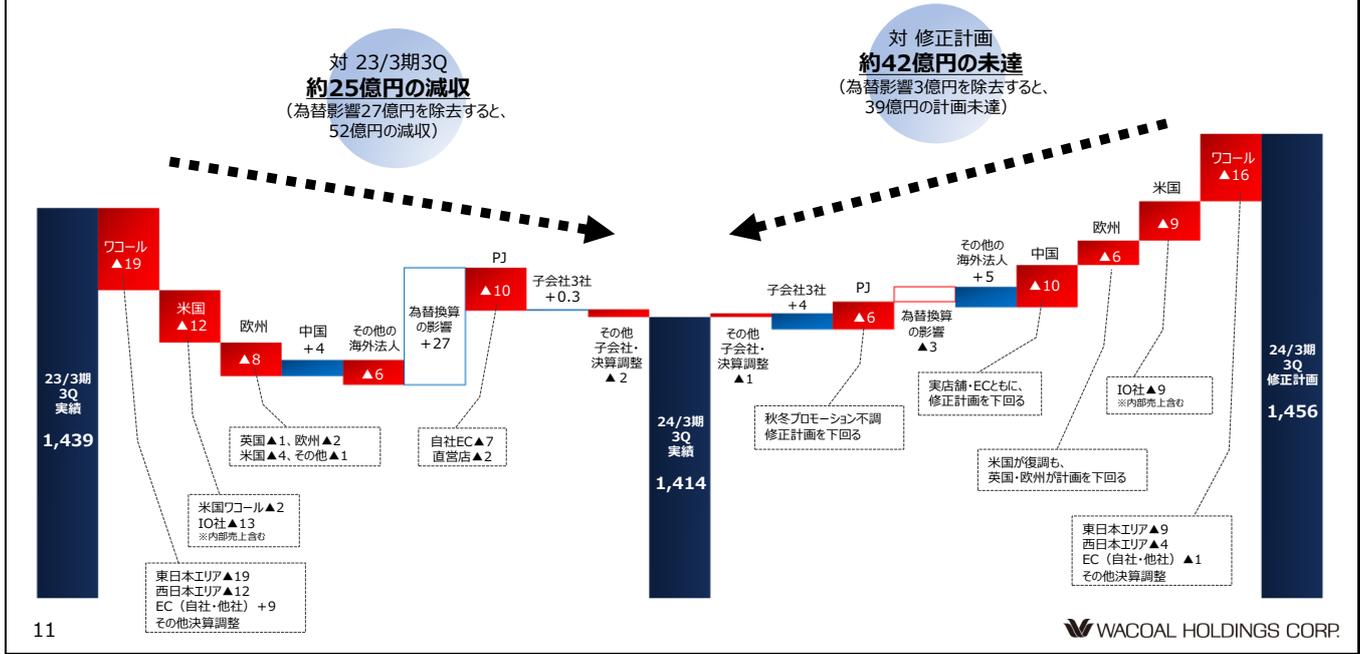
※投資減損：関連会社投資の一株当たり株価が簿価を一定条件で下回った場合、減損を計上



10ページをご覧ください。事業利益から四半期利益にかけて、前年同期差の主な要因を記載しています。営業損益は、米国事業に係るのれんの減損損失を計上したこともあり、20億円の営業損失となりました。税引前四半期損益は、営業損失に加え、持分法投資の減損損失の計上などが響き、前年同期に対して17億円の減益となりました。以上の結果、親会社の所有者に帰属する四半期損益は、39億円の損失となり、前年同期に対して16億円の減益となりました。

(参考) 24/3期 3Q 売上収益増減 前年同期・修正計画差

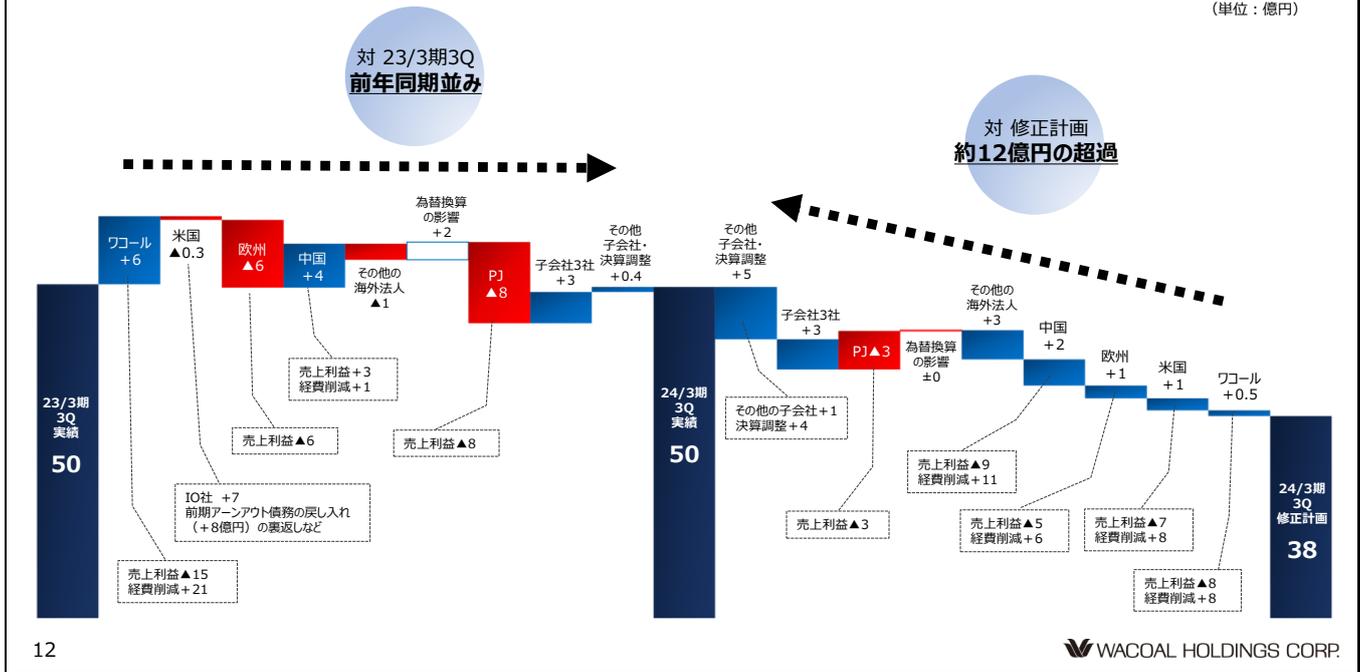
(単位：億円)



11ページをご覧ください。参考として、売上収益の前年同期差および修正計画差をウォーターフォールで記載しています。右のチャートは11月9日に開示した修正計画との差となりますが、秋冬商戦の低迷の結果、各社とも想定を下回っての着地となっています。

(参考) 24/3期 3Q 事業利益増減 前年同期・修正計画差

(単位：億円)



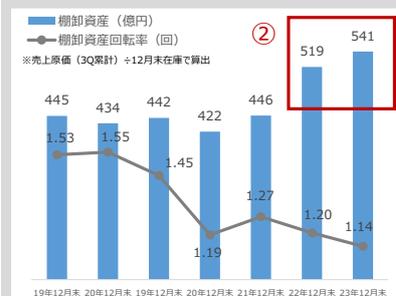
12ページです。事業利益の前年同期差および修正計画差をウォーターフォールで記載しています。売上収益同様に、右のチャートは11月9日に開示した修正計画との差を示しています。各社ともに売上利益の減少を販管費抑制でカバーした結果、修正予算を上回って終了しています。

## 24/3期 3Q – 連結財政状態計算書

(単位：億円)

	23/3期期末	構成比	24/3期3Q	構成比	増減額
現金及び現金同等物	268		302		+34
営業債権及びその他の債権（売掛債権）	202		195		▲7
棚卸資産	537		541		+4
その他	50		77		+27
流動資産 計	1,057	37.0	1,115	39.7	+58
有形固定資産・無形資産	597		577		▲20
のれん	163		112		▲51
その他の金融資産	502		481		▲21
その他	538		527		▲11
非流動資産 計	1,800	63.0	1,697	60.3	▲103
資産合計	2,857	100.0	2,813	100.0	▲44
	23/3期期末	構成比	24/3期3Q	構成比	増減額
営業債務及びその他の債務（買掛債務）	175		139		▲36
借入金	81		89		+8
リース負債	123		107		▲16
繰延税金負債	139		151		+12
その他	204		229		+25
負債 計	722	25.3	715	25.4	▲7
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,102		2,065		▲37
非支配持分	33		32		▲1
資本 計	2,135	74.7	2,098	74.6	▲37
負債及び資本 合計	2,857	100.0	2,813	100.0	▲44

- ① ✓「のれん」減損損失計上による減少  
✓政策保有株式の時価が上昇するも、売却が進む
- ② ✓売上苦戦や為替影響・原価高騰などにより、直近2年間の棚卸資産は増加（在庫回転率は悪化）



WACOAL HOLDINGS CORP.

13ページです。次に、貸借対照表について、ご説明いたします。資産の部は、政策保有株式の売却に伴う「現金及び現金同等物」の増加などが寄与し、流動資産が前期末に比べ58億円増加しています。一方、非流動資産については、減損損失の計上に伴う「のれん」の減少や、政策保有株式の売却に伴う「その他の金融資産」の減少により、前期末に比べ103億円の減少となりました。なお、政策保有株式につきましては、保有資産の時価の上昇により変化が見えにくいですが、方針に従って137億円分の売却を進めております。以上の結果、総資産は前期末に比べ44億円の減少となりました。

負債は、売上動向を踏まえた生産縮小などにより営業債務が減少したことなどから、前期末に比べ7億円の減少となりました。また、資本については自己株式の取得や四半期損失の影響などにより、前期末に比べ37億円減少しました。

なお、右下には直近7期の棚卸資産と3Q累計期間の在庫回転率の推移を記載しています。売上の苦戦や、為替影響、原価高騰などを背景に、在庫回転率は悪化傾向にありますが、中計リバイズで掲げるサプライチェーンマネジメント改革の取り組みを通じて、改善に繋げていく計画です。

## 24/3期 3Q -連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	23/3期 3Q	24/3期 3Q	増減
四半期利益	▲22	▲40	▲17
減価償却費	81	89	+8
減損損失	101	65	▲36
運転資本構成項目の増減額			
営業債権及びその他の債権の増減額（▲は増加）	10	14	+4
棚卸資産の増減額（▲は増加）	① ▲53	11	+64
営業債務及びその他の債務の増減額（▲は減少）	▲21	▲39	▲18
退職給付に係る資産及び負債の増減額	② ▲1	▲19	▲18
その他	▲32	▲5	+27
営業活動によるキャッシュ・フロー	62	76	+14
有形固定資産・無形資産の取得による支出	▲40	▲28	+12
有形固定資産の売却による収入	③ 45	6	▲39
その他	④ 46	132	+85
投資活動によるキャッシュ・フロー	52	110	+58
短期借入金の純増減額（△は減少）	▲41	7	+48
リース負債の返済による支出	▲45	▲43	+2
自己株式の取得による支出	▲62	▲76	▲14
親会社の所有者への配当金の支払額	▲42	▲52	▲9
その他	7	▲0	▲7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲184	▲164	+20
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	12	+10
現金及び現金同等物に係る増減額（△は減少）	▲68	34	+102

- ① ✓ 棚卸資産の減少などによるキャッシュフローの改善
- ② ✓ フレックス定年制度の特別運用実施に伴う退職金支払いの増加
- ③ ✓ 前年度に固定資産売却額（44億円）を計上
- ④ ✓ 政策保有株式の売却

WACOAL HOLDINGS CORP.

14

14ページです。次に、キャッシュフローの状況について記載しています。営業活動によるキャッシュフローは、四半期損益が前年同期に対して下回りましたが、減益の主要因がキャッシュアウトを伴わない米国事業に係る減損や関連会社株式の減損であったことから、収入は前年同期に対して14億円増加の76億円となりました。

投資活動によるキャッシュフローは、既存事業への投資を行った一方で、政策保有株式の売却が進んだことから、110億円の収入となりました。財務活動によるキャッシュフローは、配当金の支払額や自己株式の取得額が増加しましたが、前年同期に短期借入金の純減があったことの裏返しから、前年同期に対しキャッシュアウトは20億円減少し、164億円の支出となりました。

## 24/3期 3Q ワコール事業（国内）の概況

※主要子会社の業績レポートは、参考資料（P31～）に記載しています

売上収益  
**726**億円

<前年同期差> ▲21億円（▲3%）  
<修正計画差> ▲16億円（▲2%）  
<当初計画差> ▲69億円（▲9%）

中価格帯商品を展開する「Wacoal」「Wing」は、実店舗での売上が低迷

- 主要チャネルである百貨店や量販店における中価格帯商品の販売が伸び悩む
- 高価格帯ブランドの「Yue」「Salute」、メンズインナーウェアは堅調に推移
- 直営店「AMPHI」は苦戦も、「Wacoal The Store」やファクトリーストアは堅調に推移
- 自社EC・他社ECは、好調を維持

顧客基盤の活用状況

会員顧客による購買は前年同期を上回る

購買客の属性		購買金額 前年同期比	構成比
会員顧客	既存会員	+25%	20% (+4pt)
	復帰会員※	+17%	5% (+1pt)
	新規会員	+3%	16% (+1pt)
非会員顧客による購買金額		▲11%	58% (▲6pt)

※ 前年に購買実績のない会員

事業利益  
**26**億円

<前年同期差> +6億円（+30%）  
<修正計画差> +5億円（+25%）  
<当初計画差> ▲0.7億円（▲3%）

人件費や広告宣伝費の抑制に努め、減収影響や売上利益率の低下をカバー

- 原価高騰や主に直営店におけるセール販売比率の高まりから、売上利益率が悪化
- フレックス定年制度の特別運用による人件費の減少のほか、売上動向を踏まえて広告費を抑制

15ページです。このページより、セグメントごとに業績を振り返ってまいります。

ワコール事業（国内）の売上収益は、726億円と、前年同期に対して3%の減収となりました。また、修正計画に対しては2%の未達となりました。上期同様、高価格帯ブランドの「Yue（ユエ）」、「Salute（サルート）」が堅調に推移したことに加え、メンズインナーウェアも消費者からの高い評価を受けて伸長しました。一方、主に中価格帯商品を展開する主力ブランドの「Wacoal（ワコール）」、「Wing（ウイング）」については物価上昇を背景とする消費者の選別消費の高まりもあり、低調な推移となりました。直営店については、若年層をターゲットとする「AMPHI（アンフィ）」が来店客数の伸び悩みから苦戦しましたが、ファクトリーストアなどの堅調な推移が寄与し、全体では前年同期並みの売上規模となりました。また、自社EC・他社ECについては好調を維持しています。事業利益は26億円となりました。前期のフレックス定年制度の特別運用を受けた人員の減少による人件費の削減や広告宣伝費の抑制が、減収影響や売上利益率の低下をカバーした結果、前年同期・修正計画を上回って終了しています。

## 24/3期 3Q ワコール事業（海外）の概況

※主要子会社の業績レポートは、参考資料（P31～）に記載しています

売上収益  
**503億円**

<前年同期差> +5億円 (+1%)  
<修正計画差> ▲23億円 (▲4%)  
<当初計画差> ▲49億円 (▲9%)

米国で商況の改善が見られるものの、英国・欧州・中国エリアの売上は低調に推移

- ワコールヨーロッパ、ワコールインターナショナル（米国）が現地通貨ベースで減収となるも、主要通貨が円安に推移したことが寄与し、邦貨換算ベースでは増収を確保
- 中国は市場回復の遅れに伴う実店舗への来店客数の伸び悩みやECでの競争激化により低迷

(単位：億円)

子会社名	24/3期 3Q実績	前年同期差	修正計画差
ワコールインターナショナル（米国）	213	▲2 (▲1%)	▲12 (▲5%)
ワコールヨーロッパ	145	+5 (+4%)	▲6 (▲4%)
中国ワコール	78	+4 (+6%)	▲10 (▲11%)

事業利益  
**20億円**

<前年同期差> ▲2億円 (▲10%)  
<修正計画差> +7億円 (+55%)  
<当初計画差> ▲7億円 (▲26%)

中国やIO社の赤字幅縮小も、欧州の減収影響が大きく、前年同期を下回る

- 米国は、前年同期に発生したアーンアウト債務の戻し入れ影響の裏返しもあり、減収
- ワコールヨーロッパは、減収影響や製造効率の低下により減益
- 中国ワコールは、売上が計画を大幅に下回った結果、事業損失が継続

(単位：億円)

子会社名	24/3期 3Q実績	前年同期差	修正計画差
ワコールインターナショナル（米国）	5	▲0.1 (▲2%)	+1 (+26%)
ワコールヨーロッパ	10	▲5 (▲33%)	+1 (+13%)
中国ワコール	▲3	+4 (-)	+2 (-)

16ページをご覧ください。

ワコール事業（海外）の売上収益は、503億円と、前年同期に対して1%の増収となりました。ワコールヨーロッパや米国のワコールインターナショナルが現地通貨ベースで減収となりましたが、主要通貨が円安に推移したことが寄与し、邦貨換算ベースでの当該セグメントの売上収益は増収となりました。一方で、修正計画に対しては、4%の未達となりました。

ワコールヨーロッパは、英国・欧州が低調な推移となりましたが、米国は商況の改善が見られました。しかしながら、9月に発生したサイバーインシデントによる出荷停止の影響や冷夏による水着の売上減少の影響を補うには至らず、現地通貨ベースで減収となりました。米国のワコールインターナショナル（米国）は、「Wacoal」ブランドを展開する米国ワコールが堅調に推移したものの、「LIVELY」ブランドを展開するIO社が大幅な減収となったことが影響し、前年同期を下回りました。中国ワコールは、実店舗への来店客数の伸び悩みや、ECでの競争激化等により、売上は想定を大きく下回って推移しました。

事業利益は20億円となりました。中国やIO社で赤字幅が縮小したものの、欧州の減収影響や前年同期に発生したアーンアウト対価の戻し入れ影響の裏返しから、前年同期に対して10%の減益となりました。

## 24/3期 3Q ピーチ・ジョン事業/その他事業の概況

※主要子会社の業績レポートは、参考資料（P31～）に記載しています

### ピーチ・ジョン事業の概況

売上収益  
**81億円**

<前年同期差> ▲10億円 (▲11%)  
<修正計画差> ▲6億円 (▲7%)  
<当初計画差> ▲14億円 (▲15%)

事業利益  
**3億円**

<前年同期差> ▲7億円 (▲74%)  
<修正計画差> ▲3億円 (▲57%)  
<当初計画差> ▲6億円 (▲71%)

新商品のプロモーションの効果が想定を下回り減収減益

#### 国内

▶ 有名タレントとのコラボレーション企画によって、新規顧客の獲得に注力したものの、想定した効果を得ることが出来ず、直営店・自社ECともに減収

#### 海外

▶ 台湾PJ、香港PJともに新規出店の寄与により増収も、想定を下回る水準に留まる

### その他の概況

売上収益  
**105億円**

<前年同期差> +0.9億円 (+0.9%)  
<修正計画差> +4億円 (+4%)  
<当初計画差> ▲11億円 (▲10%)

事業利益  
**0.6億円**

<前年同期差> +3億円 (-)  
<修正計画差> +3億円 (-)  
<当初計画差> ▲1億円 (▲70%)

ルシアン:PB商品の販売苦戦  
七彩・Ai:回復基調

#### ルシアン

▶ 大手衣料品チェーン向けのPB商品の販売が低迷

#### 七彩

▶ 商業施設への来客数の増加を背景に、レンタル事業、物販事業、内装工事事業が堅調に推移

#### Ai (アイ)

▶ 旅行関連需要の回復などを受けて増収

17ページをご覧ください。

ピーチ・ジョン事業の売上収益は、81億円と前年同期に対して11%の減収となりました。有名タレントとのコラボレーション企画によって新規顧客の獲得に注力したものの、想定した効果を得ることが出来ず、前年同期を下回りました。また事業利益は、減収の影響やECシステムの更新に伴う経費増加もあり、前年同期に比べて74%の減少となりました。

その他の売上収益は105億円と、前年同期・修正計画ともに上回りました。ルシアンは、大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の販売が低調に推移し、減収となりましたが、七彩とAi (アイ) は需要回復を受け増収となりました。事業利益は0.6億円となり、黒字転換となりました。

## (参考) EC事業の進捗

主要6社合計の売上収益  
に占めるEC比率

**29.4%**

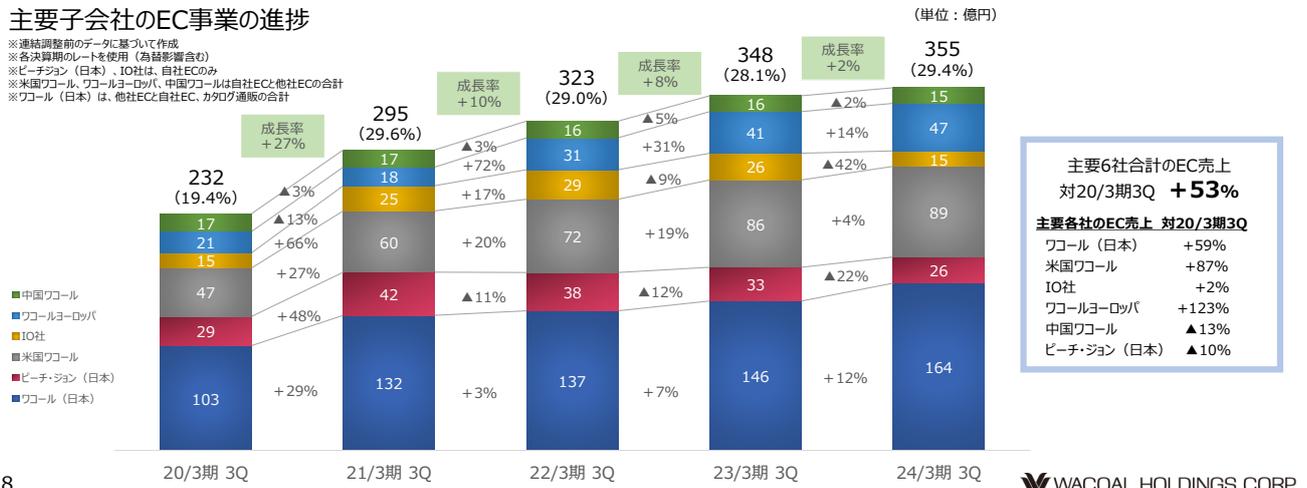
邦貨換算ベース (為替影響含む)

ワコール・ワコールヨーロッパ・米国WのEC事業は伸長も、PJや中国Wは伸び悩む

- 24/3期3Qの各社の売上に対するEC売上比率：  
ワコール 23%、ピーチ・ジョン 34%、米国W 45%、IO社 73%、ワコールヨーロッパ 31%、中国W 24%

### 主要子会社のEC事業の進捗

※連結調整前のデータに基づいて作成  
※各決算期のレートを使用 (為替影響含む)  
※ピーチジョン (日本)、IO社は、自社ECのみ  
※米国ワコール、ワコールヨーロッパ、中国ワコールは自社ECと他社ECの合計  
※ワコール (日本) は、他社ECと自社EC、カタログ通販の合計



18ページです。

このページでは、ワコール、ピーチ・ジョン、米国ワコール、IO社、ワコールヨーロッパ、中国ワコール、以上の6社のEC売上の変化をまとめています。ワコール、米国ワコール、ワコールヨーロッパのEC事業は堅調な推移となりましたが、PJの苦戦もあり、前年同期に対しては2%の成長にとどまっています。

### 3. 通期業績予想

続きまして、2024年3月期通期業績予想について、ご説明します。

## 2023年11月9日に公表した通期業績予想については変更なし

<p>売上収益 <b>1,960億円</b></p> <p>&lt;前年同期差&gt; +74億円 (+4%) &lt;当初計画差&gt; ▲90億円 (▲4%)</p>	<p>売上回復に向けて諸施策の実行に努めるも、4Q以降も厳しい事業環境が続くと想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 3Q実績や4Qの足元の商況を受けて、売上収益の修正計画については下振れリスクあり</li> </ul>	 <p>ピーチジョン30周年企画として、グローバルグループENHYPENが登場</p>
<p>事業利益 <b>17億円</b></p> <p>&lt;前年同期差&gt; ▲24億円 (▲59%) &lt;当初計画差&gt; ▲43億円 (▲72%)</p>	<p>コストマネジメントの徹底により、修正計画の達成を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 売上動向に応じて、販管費のコントロールを強化</li> <li>➢ 3Q累計の事業利益（50億円）から減少要因は、4Q期間の赤字見込や賦課金調整※の影響額（約▲14億円）によるもの</li> </ul> <p>※日本会計基準では固定資産税等は納税した会計期間にわたって費用認識するが、IFRSでは賦課期日において一括費用計上</p>	
<p>営業損失 <b>▲120億円</b></p> <p>&lt;前年同期差&gt; ▲85億円 &lt;当初計画差&gt; ▲180億円</p>	<p>米国事業に係る減損損失のほか、4Q期間で(株)ワコールの構造改革費用を計上予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ IO社の事業撤退に伴い、WICの減損損失など（73億円）を計上</li> <li>➢ 株式会社ワコールの構造改革費用（60億円）を4Q期間で計上予定</li> </ul>	

20ページです。2023年11月9日に公表した通期業績予想については変更ございません。

売上収益については、売上回復に向けた諸施策の実行に努めるものの、第4四半期も厳しい事業環境が続くと考えており、修正計画の下振れリスクはあると想定しています。一方、事業利益については、売上動向に応じたコストマネジメントを徹底し、修正計画の達成を目指す考えです。営業損益については、ワコールインターナショナルに係る減損損失のほか、11月9日に公表した通り、ワコールでの構造改革費用を第4四半期で計上する予定です。厳しい経営環境下ではありますが、「中期経営計画リバイズ」をもとに、業績の改善に向けた取り組みを実行してまいります。

## 4. 財務・株主還元

次に財務・株主還元についてご説明します。

1. ビジネスモデル改革と成長戦略を通じた収益力の改善を最優先課題として取り組むと同時に、棚卸資産（在庫）の圧縮や、政策保有株式の縮減、保有不動産の整理を進めることで、資本効率の改善を実現しROE向上を実現
2. 将来成長への投資を優先すると同時に、資本効率の改善に向けて積極的な株主還元を実施



22ページです。

財務方針については、2023年11月9日に開示した内容から修正はございませんので、説明は割愛させていただきます。

## 24/3期 3Q 資本政策と株主還元

### ➤ 政策保有株式の売却額：約137億円 自己株式の取得額：約76億円

内訳		24/3期 3Q	リバース中計 目標数値	24/3期 3Q累計の投資内容・投資額	
創出 キャッシュ	当期利益（減損損失を除く）	25億円	100億円	ワコール / IT関連	10億円
	減価償却費※1	46億円	200億円	ワコール / 直営店・建物関連	3億円
	政策保有株式の売却額	137億円	300億円	国内子会社関連	6億円
	アセットライト化・デットの活用	-	500億円	海外・子会社関連	9億円
	合計	208億円	1,100億円	合計	28億円
使用 キャッシュ	成長投資、および設備投資額	28億円	400億円		
	配当金支払額	52億円	150億円		
	自己株式の取得額	76億円	550億円		
	合計	156億円	1,100億円		
内訳		24/3期 3Q	中期経営計画 目標数値		
政策保有株式の 売却状況※2	売却金額	122億円	300億円		
	完全売却銘柄数	8	26/3期までに純資産比率 10%未満まで縮減		

※1 減価償却費から、リース負債の返済による支出額をネットした数値を記載しています  
 ※2 2023年3月末時点の時価金額を記載しています（実際の売却額とは異なります）

23ページをご覧ください。

スライドの右側に当期における投資実績を記載しておりますが、投資内容に特段大きなものはございません。

当期の政策保有株式の売却につきましては、約137億円の売却を完了しております。

また自社株式の取得につきましては、約76億円分の株式取得を進めました。

## 4. 中期経営計画（リバイズ）の進捗

24ページです。ここからは11月に公表した中期経営計画リバイズの進捗について、ご説明させていただきます。  
なお、中計リバイズについては11月公表以降、取り組みを進めているものの、コスト削減などの具体的な金額を提示する段階にありません。主要項目で掲げた内容の25年3月期の目標KPIやコスト削減の進捗などについては、2024年5月に開示する予定です。

## 中計リバイズ公表後の社内コミュニケーション

### ➤ 中計リバイズの社内説明会



従業員を対象として中計リバイズの説明会を実施

- 開催日：11月20日（月）～22日（水）、29日（水）
- 場所：本社、新京都ビル、麹町、オンライン 合計6回開催
- 参加者数：1,400名程度（アーカイブ動画は別途配信）
- 内容：役員からの説明45分、質疑応答45分（合計90分）

### ➤ タウンホールミーティング



役員参加によるタウンホールミーティング（対話集会）を毎月開催

- 開催日：2023年11月28日（火）、12月1日（金）、4日（月）  
2024年1月17日（火）、22日（月）、23日（水）、25日（木）  
※2月以降も継続して実施
- 参加者数：各回20名程度
- 対象者：12月は一般従業員を対象、1月・2月は課長層を対象として実施

25ページをご覧ください。

まず、中計リバイズ公表後の社内コミュニケーションの状況について、ご説明いたします。資料に記載のとおり、中計リバイズ公表後に従業員を対象とした説明会を開催したほか、「タウンホールミーティング」と呼んでいる従業員との対話集会を継続して開催しています。今回の中計リバイズは厳しい施策を盛り込んでいることもあり、従業員には多様な受け止め方があったことは事実です。

説明会やタウンホールミーティングでは、中計リバイズの内容だけでなく、組織や個人の業務に関する内容に至るまで、多くの質問がありました。来期以降も継続的に従業員との対話をおこなっていきますが、中計リバイズの方針についての理解を深め、各組織や個人の行動が中計リバイズの方針に沿って変わっていくように、サポートしていく考えです。

# 従業員の反応

実施期間：12/11(月)～19(火)  
 回答者数：436名  
 対象：Wコールド、Wワコールドの従業員

## ■中期経営計画リバイズに関する社内説明会とタウンホールミーティングを開催



開催日：中計リバイズ説明会：2023年11月20日・21日・22日 合計5会場  
 タウンホールミーティング：2023年11月末～2024年3月にかけて合計10回開催予定  
 開催場所：京都・東京・オンライン  
 出席者：代表取締役 社長執行役員 矢島 昌明、代表取締役 副社長執行役員 宮城 晃、株式会社ワコールド 代表取締役 社長執行役員 川西啓介、取締役 執行役員 商品本部長 関口 満、取締役 執行役員 管理担当 廣岡 勝也、取締役 執行役員 マーケティング本部長 藤原 厚子  
 ※開催日によって出席者は異なる  
 参加者：中計リバイズ説明会：約1,400名、タウンホールミーティング：約200名(予定)

### 中期経営計画リバイズに対する従業員の声

中計リバイズを受けて、会社の方針は分かったのですが、部門としてどう進めていこうとしているのか、部門長ときちんと意見交換しようと思った。(50代)

現場で課題は見えているのに、組織最適・部分最適の考えが浸透しているため、なかなか全社で大きく変えられないことが多く、もどかしい思いをしている。経営陣と課題解決に向けて一緒に動いていきたい気持ちがあるため、今後もコミュニケーションの機会を設けてほしい。(30代)

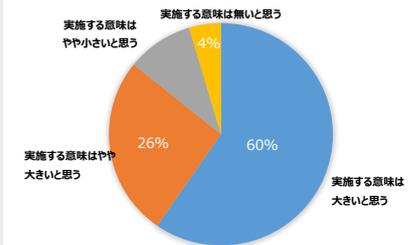
「全社方針が出されて、各部門が共通理解の上で全社方針をブレイクダウンして部門戦略や業務に落とし込む」というのは当然の流れだと思うが、部長長層の方から「内容の具体性に欠ける」「部内の業務整理をどうすべきか」という発言に驚いてしまった。権限を持っている意味を理解できていないように感じた。(20代)

経営者は、大きな方向性の指示、従業員のモチベーションを上げること、一敗固結して先に進む雰囲気等について発信していただきたい。細かい話は本来部門で判断すべきことだと理解しているが、説明会では詳細な質問が多く、回答が不明瞭に感じたことは残念だった。(30代)

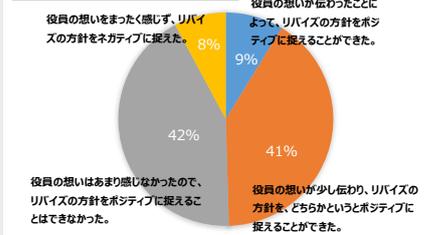
説明会後に、タウンホールミーティングを開催し、そこで直接経営陣と話しをすることができてよかった。いただいた方針をもとに会社全体からみたら自部門の役割を考えるきっかけになった。(30代)

「役員と話しをする」ということは一般従業員にはかなり心理的ハードルが高いが、直接お話しを聞くことで考えの意図や想いが伝わり、中計リバイズの印象が「ネガティブ」から「ポジティブ」へと変わった。双方に歩み寄って理解しあうことが大事と感じた。(50代)

### 役員からのダイレクトな説明をどう感じるか



### 中計リバイズ説明会の受け止め方について



26ページには、中計リバイズ後の従業員の反応についてまとめております。

スライドの右側に、今回の説明会後のアンケート結果の一部を掲載しておりますので、ご覧ください。ワコールドではこれまで経営方針などの説明についてはマネジメント層を対象に実施し、その後、マネジメント層からメンバーへ共有するステップを踏んでいました。今回の中計リバイズについては従業員へダイレクトに共有を図る方法に変更したわけですが、多くの従業員がこのスタイルについて「実施する意味が大きかった」と回答してくれています。一方、中計リバイズの受け止め方についてはさきほども説明したように、ポジティブに捉えたメンバー、ネガティブに捉えたメンバー、様々でした。中計リバイズの実効性を高めるためには、掲げた方針を各部門が理解し、達成に向けて組織や個人が持つ役割を果たすことが求められます。一人でも多くの従業員が中計リバイズを自分ごととらえて、ポジティブに日々の業務にあたっていけるよう、対話を続けていきます。

中計リバイズの進捗状況 ※各項目の25/3期目標KPIやコスト削減の進捗などについては、24年5月に開示予定

中計リバイズの取り組み項目	2024年3月期 第3四半期までの進捗
<b>1 収益力の改善に向けたビジネスモデル改革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライチェーンマネジメントの見直し</li> <li>● コスト構造改革 ● 不採算事業の対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ コスト構造改革（㈱ワコール）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字店舗（約32店舗）の撤退時期の決定 ・取引条件の見直しに関する得意先との商談進行</li> <li>・希望退職の募集開始 ・24AWシーズン商品の希望小売価格の見直し 他</li> </ul> </li> <li>➢ サプライチェーンマネジメント（㈱ワコール）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・店頭商品構成の実証実験の結果をもとに、3月までに対象ディーラーの他店舗での展開を拡大</li> <li>・需要運動型生産スキームの実証実験を準備 ・25SS企画スケジュールの短縮化に向けた検証 他</li> </ul> </li> </ul>
<b>2 “VISION2030”達成に向けた成長戦略</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ブランド戦略の見直し ● 成長市場への注力</li> <li>● 企業価値向上に向けた人材育成・組織開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 強化セグメントにおける事業方針の検討・策定（㈱ワコール）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・リブランドを実施する「Wacoal」のガイドライン策定</li> <li>・ハイプレミアム市場やアフォーダブル市場強化に向けた成長施策の検討</li> <li>・LTV向上に向けた3D計測サービスやブランド連携方針の検討 他</li> </ul> </li> <li>➢ ブランド戦略の実効性向上に向けてブランドマネジメント体制の見直しを進行中（㈱ワコール）</li> </ul>
<b>3 ROICマネジメント導入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収益力や戦略の実効性をモニタリング</li> <li>● 事業ポートフォリオマネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 24年4月からのROIC経営の開始に向けて「ROIC経営の浸透・推進」、「ROICツリーの整備・構築」、「㈱ワコール業績管理改善」の各プロジェクトを並行して開催</li> </ul>
<b>4 アセットライト化の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 棚卸資産（在庫）の圧縮</li> <li>● 政策保有株式の縮減 ● 保有不動産の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 政策保有株式の売却額（2023年4月～12月） 約115億円</li> <li>➢ ファシリティコスト削減とオフィススペースの有効活用、ならびに働きやすいオフィス環境の実現に向けて、「REBORN：（オフィス改革）プロジェクト」を発足</li> <li>➢ 事業所再編による効率化を実施（福岡・札幌営業所の閉鎖を決定）</li> </ul>

27ページをご覧ください。最後に、中計リバイズの進捗状況についてご説明させていただきます。

繰り返しの説明になりますが、中計リバイズについては11月公表以降、取り組みを進めているものの、コスト削減などの具体的な金額を提示する段階にありません。主要項目で掲げた内容の25年3月期の目標KPIやコスト削減の進捗などについては、2024年5月に開示する予定です。

それでは、スライドの左側に記載している中計リバイズの主要項目に沿って、説明いたします。

「ビジネスモデル改革」の一環として進める「コスト構造改革」については、赤字店舗の撤退時期を決定したほか、取引条件の見直しに関する得意先との商談を進行しています。また、希望退職の募集についても現在、実施している最中です。

「サプライチェーンマネジメント改革」については、店頭商品構成の最適化に向けた実証実験の結果をもとに、展開店舗の拡大を進めております。

「成長戦略」に関しては、設定した強化セグメントにおける事業方針の策定を進めるとともに、ブランド戦略の実効性の向上に向けて、ブランドマネジメント体制の見直しを進めています。なお、来期の組織体制については、3月1日に開示する予定です。

「ROICマネジメントの導入」については、24年4月からのROIC経営の開始に向けて「ROICの浸透・推進」、「ROICツリーの整備・構築」、「㈱ワコールの業績管理の改善」、以上3つのプロジェクトを並行して開催している最中です。

最後に「アセットライト化の推進」につきましては、政策保有株式の売却を進めたほか、「オフィス改革プロジェクト」を発足し、ファシリティコスト削減とオフィススペースの有効活用に向けた検討を進めています。また、事業効率の改善を目的に、福岡・札幌の両営業所の閉鎖を決定しております。



## 5. 参考資料

参考1： 24/3期 3Q 決算概況	P.31
参考2： 24/3期 3Q 決算概況（セグメント別）	P.32
参考3： 24/3期 3Q 主要子会社の実績	P.33
参考4： 主要事業会社の月次売上推移（増減率）	P.34
参考5： ワコール（国内）チャネル別、店頭ベースの売上月次推移（増減率）	P.35
参考6： 海外主要子会社のチャネル別売上月次推移（増減率）	P.36
参考7： 主要子会社のEC比率の四半期推移	P.37
参考8： 24/3期 3Q ワコールの概況 <主要事業部の売上収益・事業利益>	P.38
参考9： 24/3期 3Q ワコールインターナショナル（米国）の概況	P.39
参考10： 24/3期 3Q ワコールヨーロッパの概況	P.40
参考11： 24/3期 3Q 中国ワコールの概況	P.41
参考12： 24/3期 3Q その他アジアの概況	P.42
参考13： 24/3期 3Q ピーチ・ジョンの概況	P.43
参考14： 24/3期 3Q 国内子会社の概況（ルシアン・七彩・Ai）	P.44
参考15： 24/3期 通期計画	P.45
参考16： 24/3期 セグメント別・通期計画	P.46
参考17： 24/3期 主要子会社別・通期計画	P.47

参考1：24/3期 3Q 決算概況

為替レート	1\$	1£	1元
23/3期 3Q実績	136.51	163.91	19.88
24/3期 3Q実績	143.29	179.52	19.98
修正計画	145.00	180.00	20.00

(単位：百万円)

	23/3期 3Q実績		24/3期 修正計画 (11月9日開示)		24/3期 3Q実績		対23/3期 3Q実績		対24/3期 修正計画	
	売上比		売上比		売上比		増減額	増減率	増減額	増減率
連結売上収益	143,903	-	145,600	-	141,407	-	▲ 2,496	▲ 1.7%	▲ 4,193	▲ 2.9%
売上原価	62,246	43.3	63,200	43.4	61,846	43.7	▲ 400	▲ 0.6%	▲ 1,354	▲ 2.1%
売上利益	81,657	56.7	82,400	56.6	79,561	56.3	▲ 2,096	▲ 2.6%	▲ 2,839	▲ 3.4%
販管費	76,679	53.3	78,600	54.0	74,605	52.8	▲ 2,074	▲ 2.7%	▲ 3,995	▲ 5.1%
事業利益	4,978	3.5	3,800	2.6	4,956	3.5	▲ 22	▲ 0.4%	1,156	+30.4%
その他の収益	5,019	3.5	1,400	1.0	1,269	0.9	▲ 3,750	▲ 74.7%	▲ 131	▲ 9.4%
その他の費用	11,807	8.2	8,700	6.0	8,206	5.8	▲ 3,601	▲ 30.5%	▲ 494	▲ 5.7%
営業利益 (▲損失)	▲ 1,810	-	▲ 3,500	-	▲ 1,981	-	▲ 171	-	1,519	-
金融収益	1,285	0.9	1,600	1.1	1,850	1.3	565	+44.0%	250	+15.6%
金融費用	684	0.5	450	0.3	237	0.2	▲ 447	▲ 65.4%	▲ 213	▲ 47.3%
持分法による投資利益 (▲損失)	1,461	1.0	▲ 950	-	▲ 1,175	-	▲ 2,636	-	▲ 225	-
税引前四半期利益 (▲損失)	252	0.2	▲ 3,300	-	▲ 1,543	-	▲ 1,795	-	1,757	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (▲損失)	▲ 2,289	-	▲ 5,000	-	▲ 3,903	-	▲ 1,614	-	1,097	-

31

WACOAL HOLDINGS CORP.

参考2：24/3期 3Q 決算概況 (セグメント別)

為替レート	1\$	1£	1元
23/3期 3Q実績	136.51	163.91	19.88
24/3期 3Q実績	143.29	179.52	19.98
修正計画	145.00	180.00	20.00

(単位：百万円)

	23/3期 3Q実績		24/3期 修正計画 (11月9日開示)		24/3期 3Q実績		対23/3期 3Q実績		対24/3期 修正計画	
	構成比		構成比		構成比		増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業 (国内)	74,683	51.9	74,200	51.0	72,561	51.3	▲ 2,122	▲ 2.8%	▲ 1,639	▲ 2.2%
ワコール事業 (海外)	49,792	34.6	52,600	36.1	50,308	35.6	516	+1.0%	▲ 2,292	▲ 4.4%
ピーチ・ジョン事業	9,049	6.3	8,700	6.0	8,066	5.7	▲ 983	▲ 10.9%	▲ 634	▲ 7.3%
その他事業	10,379	7.2	10,100	6.9	10,472	7.4	93	+0.9%	372	+3.7%
売上収益	143,903	100	145,600	100	141,407	100	▲ 2,496	▲ 1.7%	▲ 4,193	▲ 2.9%
	23/3期 3Q実績	売上比	24/3期 修正計画 (11月9日開示)	売上比	24/3期 3Q実績	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業 (国内)	2,018	2.7	2,100	2.8	2,630	3.6	612	+30.3%	530	+25.2%
ワコール事業 (海外)	2,238	4.5	1,300	2.5	2,008	4.0	▲ 230	▲ 10.3%	708	+54.5%
ピーチ・ジョン事業	983	10.9	600	6.9	257	3.2	▲ 726	▲ 73.9%	▲ 343	▲ 57.2%
その他事業	▲ 261	-	▲ 200	-	61	0.6	322	-	261	-
事業利益 (▲損失)	4,978	3.5	3,800	2.6	4,956	3.5	▲ 22	▲ 0.4%	1,156	+30.4%
	23/3期 3Q実績	売上比	24/3期 修正計画 (11月9日開示)	売上比	24/3期 3Q実績	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業 (国内)	5,053	6.8	2,300	3.1	3,082	4.2	▲ 1,971	▲ 39.0%	782	+34.0%
ワコール事業 (海外)	▲ 8,044	-	▲ 6,200	-	▲ 5,350	-	2,694	-	850	-
ピーチ・ジョン事業	896	9.9	300	3.4	▲ 50	-	▲ 946	-	▲ 350	-
その他事業	285	2.7	100	1.0	337	3.2	52	+18.2%	237	+237.0%
営業利益 (▲損失)	▲ 1,810	-	▲ 3,500	-	▲ 1,981	-	▲ 171	-	1,519	-

32

WACOAL HOLDINGS CORP.

参考3：24/3期 3Q 主要子会社の実績

為替レート	1 \$	1 £	1 元
23/3期 3Q実績	136.51	163.91	19.88
24/3期 3Q実績	143.29	179.52	19.98
修正計画	145.00	180.00	20.00

(単位：百万円)

		売上収益								事業利益 (▲損失)								営業利益 (▲損失)														
		23/3期 3Q実績		24/3期 修正計画 (11月9日開示)		24/3期 3Q実績		対23/3期 3Q実績		対24/3期 修正計画		23/3期 3Q実績		24/3期 修正計画 (11月9日開示)		24/3期 3Q実績		対23/3期 3Q実績		対24/3期 修正計画		23/3期 3Q実績		24/3期 修正計画 (11月9日開示)		24/3期 3Q実績		対23/3期 3Q実績		対24/3期 修正計画		
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率			
ワコール事業 (国内)	ワコール	70,397	70,066	68,519	▲ 1,878	▲ 2.7%	▲ 1,547	▲ 2.2%	1,264	1,820	1,874	610	+48.2%	54	+2.9%	5,160	2,240	2,768	▲ 2,392	▲ 46.4%	528	+23.6%										
ワコール事業 (海外)	ワコール インターナショナル	21,491	22,447	21,302	▲ 189	▲ 0.9%	▲ 1,145	▲ 5.1%	506	396	498	▲ 8	▲ 1.6%	102	+25.8%	▲ 9,587	▲ 7,170	▲ 6,981	2,606	-	189	-										
	ワコールヨーロッパ	14,013	15,108	14,504	491	+3.5%	▲ 604	▲ 4.0%	1,487	878	990	▲ 497	▲ 33.4%	112	+12.8%	955	868	957	2	+0.2%	89	+10.3%										
	中国ワコール	7,333	8,718	7,746	413	+5.6%	▲ 972	▲ 11.1%	▲ 659	▲ 502	▲ 266	393	-	236	-	▲ 668	▲ 487	▲ 269	399	-	218	-										
ビーチ・ジョン事業		9,049	8,700	8,066	▲ 983	▲ 10.9%	▲ 634	▲ 7.3%	983	600	257	▲ 726	▲ 73.9%	▲ 343	▲ 57.2%	896	300	▲ 50	▲ 946	-	▲ 350	-										
その他	ルシアン	2,494	1,900	1,889	▲ 605	▲ 24.3%	▲ 11	▲ 0.6%	▲ 225	▲ 200	▲ 73	152	-	127	-	90	▲ 20	15	▲ 75	▲ 83.3%	35	-										
	七彩	4,703	4,706	5,085	382	+8.1%	379	+8.1%	▲ 24	▲ 157	▲ 25	▲ 1	-	132	-	32	▲ 102	43	11	+34.4%	145	-										
	A i	2,192	2,444	2,441	249	+11.4%	▲ 3	▲ 0.1%	▲ 5	113	124	129	-	11	+9.7%	8	115	127	119	-	12	+10.4%										
【海外主要子会社】 (現地通貨ベース) (単位：米国：千US\$ 3-ロバ：千£ 中国：千元)																																
ワコール事業 (海外)	ワコール インターナショナル	157,429	154,809	148,662	▲ 8,767	▲ 5.6%	▲ 6,147	▲ 4.0%	3,725	2,729	3,464	▲ 261	▲ 7.0%	735	+26.9%	▲ 70,221	▲ 51,944	▲ 48,727	21,494	-	3,217	-										
	ワコールヨーロッパ	85,495	83,932	80,791	▲ 4,704	▲ 5.5%	▲ 3,141	▲ 3.7%	9,060	4,881	5,514	▲ 3,546	▲ 39.1%	633	+13.0%	5,821	4,829	5,335	▲ 486	▲ 8.3%	506	+10.5%										
	中国ワコール	368,873	435,903	387,664	18,791	+5.1%	▲ 48,239	▲ 11.1%	▲ 33,147	▲ 25,100	▲ 13,390	19,757	-	11,710	-	▲ 33,636	▲ 24,343	▲ 13,500	20,136	-	10,843	-										

33

WACOAL HOLDINGS CORP.

参考4：主要事業会社の月次売上推移 (増減率)

	月次売上収益 (増減率) ※下段は、対20/3期比															
	23/3期				24/3期											
	1月度	2月度	3月度	4Q	4月度	5月度	6月度	1Q	7月度	8月度	9月度	2Q	10月度	11月度	12月度	3Q
ワコール	+8%	▲ 8%	▲ 1%	▲ 0%	+5%	+3%	▲ 11%	▲ 1%	▲ 3%	▲ 9%	▲ 7%	▲ 6%	+6%	▲ 6%	▲ 6%	▲ 2%
	▲ 12%	▲ 32%	+22%	▲ 7%	▲ 23%	▲ 12%	▲ 14%	▲ 16%	▲ 24%	▲ 31%	▲ 35%	▲ 31%	▲ 6%	+6%	▲ 10%	▲ 3%
米国ワコール	+23%	▲ 3%	▲ 2%	+6%	▲ 7%	+10%	▲ 7%	▲ 2%	▲ 2%	▲ 5%	▲ 6%	▲ 4%	▲ 4%	+1%	+18%	+3%
	+46%	▲ 12%	+8%	+11%	+25%	+16%	▲ 6%	+12%	+7%	▲ 13%	+1%	+16%	+14%	+13%	+14%	
ワコールヨーロッパ	+18%	+19%	+8%	+14%	▲ 15%	+2%	+16%	+1%	▲ 14%	+1%	▲ 44%	▲ 18%	+14%	▲ 7%	▲ 3%	+1%
	+34%	+18%	+93%	+43%	+10%	+37%	+40%	+29%	+1%	+9%	▲ 38%	▲ 8%	+22%	+24%	+5%	+17%
中国ワコール	▲ 5%	▲ 9%	▲ 0%	▲ 4%	+109%	+19%	▲ 12%	+19%	▲ 16%	▲ 16%	▲ 5%	▲ 13%	▲ 10%	▲ 1%	▲ 8%	▲ 6%
	▲ 14%	+211%	+10%	+12%	▲ 30%	▲ 29%	▲ 36%	▲ 32%	▲ 40%	▲ 37%	▲ 40%	▲ 39%	▲ 37%	▲ 47%	▲ 43%	▲ 43%
ビーチ・ジョン (国内のみ)	▲ 0%	▲ 7%	▲ 9%	▲ 5%	▲ 4%	▲ 4%	▲ 9%	▲ 6%	▲ 10%	▲ 3%	▲ 18%	▲ 10%	▲ 9%	▲ 19%	▲ 10%	▲ 13%
	+10%	▲ 2%	+16%	+8%	+16%	+2%	+9%	+8%	+5%	▲ 1%	▲ 21%	▲ 6%	+9%	▲ 1%	+9%	+6%
ルシアン (国内のみ)	▲ 5%	▲ 17%	▲ 6%	▲ 10%	+6%	▲ 15%	▲ 17%	▲ 8%	▲ 28%	+32%	▲ 7%	▲ 2%	▲ 23%	▲ 42%	▲ 34%	▲ 34%
	▲ 40%	▲ 30%	▲ 26%	▲ 32%	▲ 33%	▲ 41%	▲ 55%	▲ 43%	▲ 52%	▲ 16%	▲ 37%	▲ 35%	▲ 57%	▲ 57%	▲ 64%	▲ 59%
七彩	▲ 9%	▲ 6%	▲ 28%	▲ 20%	+31%	+28%	▲ 20%	+11%	+0%	▲ 26%	+1%	▲ 9%	▲ 34%	+52%	+44%	+13%
	▲ 20%	▲ 39%	▲ 38%	▲ 35%	▲ 6%	▲ 1%	▲ 30%	▲ 13%	▲ 9%	▲ 37%	▲ 58%	▲ 45%	▲ 26%	▲ 11%	+44%	▲ 10%
Ai (アイ)	+18%	+48%	+51%	+37%	+20%	+20%	+12%	+17%	+15%	+10%	+7%	+12%	+8%	+19%	+14%	+13%
	▲ 36%	▲ 26%	+17%	▲ 19%	▲ 27%	▲ 17%	▲ 25%	▲ 23%	▲ 10%	▲ 30%	▲ 21%	▲ 21%	▲ 18%	▲ 13%	▲ 14%	▲ 15%

※連結調整前の数値を記載。また、内部売上を含んだ前年同月比 (増減率) を記載  
 ※米国ワコールのみの実績を記載 (10社の売上は含まれない)  
 ※米国ワコール、ワコールヨーロッパ、中国ワコールは、現地通貨ベースの前年同月比 (増減率) を記載  
 ※中国ワコールは、純額ベースの前年同月比 (増減率) を記載。また、ビーチ・ジョンの中国国内の売上を除去して記載

34

WACOAL HOLDINGS CORP.

参考5：ワコール（国内）チャネル別、店頭ベースの売上月次推移（増減率）

	店頭ベースの売上収益推移（増減率） 上段は前年同月比、下段は20/3期比															
	23/3期				24/3期											
	1月度	2月度	3月度	4Q	4月度	5月度	6月度	1Q	7月度	8月度	9月度	2Q	10月度	11月度	12月度	3Q
百貨店	+6% ▲ 6%	+16% ▲ 14%	▲ 2% +11%	+5% ▲ 3%	▲ 3% ▲ 33%	▲ 6% ▲ 32%	▲ 4% ▲ 28%	▲ 4% ▲ 31%	+3% ▲ 15%	+0% ▲ 34%	▲ 6% ▲ 49%	▲ 1% ▲ 34%	▲ 9% ▲ 10%	▲ 2% ▲ 27%	▲ 5% ▲ 26%	▲ 6% ▲ 22%
量販店（ワコールブランド）	▲ 3% ▲ 21%	▲ 1% ▲ 22%	▲ 2% ▲ 13%	▲ 2% ▲ 18%	▲ 2% ▲ 33%	▲ 12% ▲ 29%	▲ 16% ▲ 18%	▲ 10% ▲ 20%	+3% ▲ 11%	▲ 6% ▲ 46%	▲ 4% ▲ 54%	▲ 1% ▲ 34%	▲ 8% ▲ 5%	▲ 7% +5%	+1% ▲ 25%	▲ 5% ▲ 9%
量販店（ウイングブランド）	+7% ▲ 15%	+7% ▲ 19%	▲ 6% ▲ 7%	+1% ▲ 13%	▲ 2% ▲ 16%	▲ 8% ▲ 26%	▲ 16% ▲ 22%	▲ 9% ▲ 21%	+1% ▲ 17%	▲ 8% ▲ 31%	▲ 9% ▲ 52%	▲ 5% ▲ 34%	▲ 13% +0%	▲ 15% ▲ 10%	▲ 8% ▲ 22%	▲ 12% ▲ 12%
専門店（実店舗）	▲ 7% ▲ 6%	+3% ▲ 2%	▲ 17% ▲ 23%	▲ 7% ▲ 10%	▲ 15% ▲ 34%	+15% ▲ 30%	▲ 10% ▲ 50%	▲ 4% ▲ 39%	▲ 1% ▲ 38%	▲ 4% ▲ 43%	▲ 5% ▲ 53%	▲ 3% ▲ 45%	▲ 6% ▲ 36%	+3% ▲ 31%	▲ 11% ▲ 41%	▲ 5% ▲ 37%
スポーツ量販店	+29% ▲ 19%	+57% ▲ 17%	+31% +54%	+37% ▲ 2%	+8% ▲ 29%	+11% ▲ 28%	+15% ▲ 27%	+11% ▲ 28%	+10% ▲ 7%	+4% ▲ 36%	+15% ▲ 7%	+10% ▲ 17%	▲ 4% ▲ 5%	▲ 3% ▲ 24%	▲ 5% ▲ 20%	▲ 4% ▲ 16%
他社EC	+0% +55%	+8% +36%	+3% +49%	+3% +47%	+4% +60%	+15% +51%	+14% +61%	+11% +57%	+17% +75%	▲ 8% +60%	+9% +23%	+6% +51%	+32% +84%	+13% +79%	+9% +75%	+17% +79%
直営店（実店舗）	+6% ▲ 12%	+17% ▲ 2%	+2% +21%	+7% ▲ 1%	+1% ▲ 9%	+7% ▲ 3%	▲ 4% ▲ 20%	+1% ▲ 9%	+6% ▲ 1%	+0% ▲ 10%	▲ 2% ▲ 19%	+2% ▲ 9%	▲ 6% ▲ 1%	▲ 1% ▲ 4%	▲ 2% ▲ 19%	▲ 3% ▲ 9%
自社EC	+1% +42%	▲ 6% +41%	+26% +77%	+8% +54%	▲ 6% +62%	▲ 1% +75%	+29% +131%	+7% +89%	+10% +68%	+13% +92%	+3% +75%	+8% +77%	+19% +39%	+17% +117%	+5% +99%	+13% +86%
カタログ	+9% +54%	+2% ▲ 14%	▲ 5% +3%	+2% +3%	▲ 8% ▲ 12%	▲ 23% ▲ 10%	+1% +9%	▲ 12% ▲ 7%	▲ 20% ▲ 36%	▲ 4% ▲ 19%	▲ 26% ▲ 34%	▲ 17% ▲ 29%	▲ 9% ▲ 15%	▲ 12% +33%	+14% +48%	▲ 6% +14%
合計	+8% ▲ 12%	▲ 8% ▲ 32%	▲ 1% +22%	+0% ▲ 7%	+3% ▲ 23%	+3% ▲ 12%	▲ 11% ▲ 14%	▲ 2% ▲ 16%	▲ 3% ▲ 24%	▲ 9% ▲ 31%	▲ 7% ▲ 35%	▲ 6% ▲ 31%	+6% ▲ 6%	▲ 6% +6%	▲ 6% ▲ 10%	▲ 2% ▲ 3%

※ 店頭ベースの売上高が、把握できる店舗のみの実績集計を明示

参考6：海外主要子会社のチャネル別売上月次推移（増減率）

		主要子会社チャネル別売上収益推移（増減率） 上段は前年同月比、下段は20/3期比															
		23/3期				24/3期											
		1月度	2月度	3月度	4Q	4月度	5月度	6月度	1Q	7月度	8月度	9月度	2Q	10月度	11月度	12月度	3Q
米国ワコール	百貨店	+42% +39%	▲ 3% ▲ 37%	▲ 25% ▲ 44%	+3% ▲ 22%	▲ 17% ▲ 3%	+16% ▲ 4%	+6% ▲ 19%	▲ 1% ▲ 9%	+7% ▲ 11%	+4% ▲ 33%	▲ 8% ▲ 22%	+1% ▲ 22%	▲ 11% ▲ 1%	+0% ▲ 5%	+42% ▲ 5%	+1% ▲ 11%
	百貨店EC	+26% +42%	▲ 15% +11%	+11% +36%	+5% +28%	▲ 2% +57%	+34% +114%	▲ 26% ▲ 14%	+0% +42%	▲ 16% ▲ 21%	+26% +15%	▲ 25% +15%	▲ 8% +0%	▲ 20% ▲ 7%	▲ 18% ▲ 6%	+27% +45%	▲ 5% +17%
	専業EC	▲ 1% +124%	+4% +42%	+10% +67%	+4% +74%	▲ 18% +30%	▲ 17% ▲ 16%	▲ 37% ▲ 16%	▲ 25% ▲ 1%	▲ 13% +87%	▲ 42% ▲ 2%	▲ 4% +36%	▲ 20% +40%	+126% +37%	+38% +36%	+30% +169%	▲ 7% +29%
	自社EC	▲ 7% +25%	+5% +46%	+5% +117%	+1% +55%	+14% +81%	+3% +89%	+5% +85%	+7% +85%	+14% +97%	▲ 12% +65%	+16% +85%	+5% +83%	+2% +51%	+0% +95%	+5% +20%	+5% +74%
ワコールヨーロッパ	百貨店	+24% +32%	+7% ▲ 21%	▲ 15% +18%	+4% +3%	▲ 14% +10%	+20% +39%	+20% +11%	+7% +21%	▲ 7% ▲ 8%	▲ 6% ▲ 18%	▲ 50% ▲ 60%	▲ 18% ▲ 22%	+3% +5%	▲ 11% ▲ 6%	▲ 4% ▲ 8%	▲ 3% ▲ 3%
	専門店	▲ 8% ▲ 2%	+3% ▲ 10%	▲ 15% +60%	▲ 8% +11%	▲ 16% ▲ 5%	▲ 12% +14%	▲ 3% +16%	▲ 10% +8%	▲ 18% ▲ 27%	▲ 20% ▲ 14%	▲ 47% ▲ 41%	▲ 28% ▲ 27%	+8% +5%	▲ 22% +12%	▲ 28% ▲ 17%	▲ 13% +1%
	EC	+60% +161%	+46% +155%	+74% +233%	+59% +181%	▲ 15% +63%	+17% +96%	+44% +129%	+15% +97%	+15% +80%	+44% +114%	▲ 38% ▲ 3%	▲ 3% +68%	+43% +119%	+32% +97%	+42% +81%	+39% +98%
中国ワコール	実店舗	+0% ▲ 17%	▲ 5% +473%	+21% +53%	+6% +27%	+66% ▲ 24%	+37% ▲ 21%	▲ 9% +35%	+22% ▲ 30%	▲ 12% ▲ 30%	▲ 12% ▲ 39%	+17% ▲ 37%	▲ 4% ▲ 45%	▲ 11% ▲ 36%	+27% ▲ 40%	▲ 9% ▲ 40%	+0% ▲ 39%
	他社EC	▲ 15% +11%	+11% ▲ 6%	▲ 24% ▲ 45%	▲ 17% ▲ 29%	— ▲ 41%	+3% +20%	▲ 8% ▲ 24%	+26% ▲ 22%	▲ 24% ▲ 56%	▲ 17% +8%	▲ 49% ▲ 35%	▲ 31% ▲ 31%	+25% ▲ 18%	▲ 18% ▲ 49%	+0% ▲ 45%	▲ 10% ▲ 45%
	自社EC	+14% —	▲ 9% —	+34% —	+14% —	+153% —	+118% —	+15% —	+71% —	▲ 26% —	+44% —	+15% —	+30% —	+40% —	+93% —	▲ 6% —	+46% —

※連結調整前の数値。また、内部売上を含んだ前年同月比（増減率）を記載

※米国ワコール単体の数字を掲載（IO社は含まれない）

※現地通貨ベースの前年同月比（増減率）を記載

※中国ワコールは、純額ベースの前年同月比（増減率）を記載

※中国ワコールの前期比は、中国国内のピーチ・ジョン売上げの実績を除去して、算出

参考7：主要子会社のEC比率の四半期推移

		22/3期					23/3期					24/3期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
ワコール（日本）	自社EC（カタログ通販含む）/他社EC	25%	21%	20%	22%	22%	20%	21%	20%	22%	21%	23%	22%	24%
ピーチ・ジョン（日本）	自社EC	49%	43%	40%	44%	44%	40%	38%	41%	41%	40%	37%	32%	32%
米国ワコール	自社EC/他社EC	45%	43%	41%	52%	45%	45%	45%	41%	50%	46%	45%	45%	44%
IO社	自社EC	85%	84%	74%	68%	79%	84%	82%	69%	72%	78%	77%	70%	72%
ワコールヨーロッパ	自社EC/他社EC	29%	23%	24%	28%	26%	31%	26%	23%	44%	32%	35%	34%	24%
中国ワコール	自社EC/他社EC	24%	19%	23%	22%	22%	25%	22%	29%	18%	24%	26%	17%	28%
主要会社のEC比率（上位6社合計）		33%	28%	26%	30%	29%	29%	28%	26%	32%	29%	31%	29%	28%

※個社のEC比率は、現地通貨ベースで算出。6社合計の売上高比率のみ、各決算時のレートを使用して、算出  
 ※ワコール（日本）の集計方法を変更し、自社EC（カタログ通販含む）と他社ECの合計売上高比率を記載  
 ※IFRS適用により、中国ワコールは23/3期から3月決算に変更のため、過去実績も集計し直して掲載

参考8：24/3期 3Q ワコールの概況 <主要事業部の売上収益・事業損益>

売上収益  
685億円

前年同期差:▲19億円(▲3%)  
修正計画差:▲15億円(▲2%)

高価格帯やメンズ堅調も主カブランドの販売苦戦が響き、前年同期・修正計画を下回る

- ▶ 高価格帯ブランドやメンズの販売が堅調に推移した一方で、主力の「Wacoal」「Wing」が苦戦
- ▶ チャネル別ではECは自社・他社ともに伸長も、実店舗は主力チャネルの百貨店、量販店を中心に低迷

事業利益  
19億円

前年同期差:+6億円(+48%)  
修正計画差:0.5億円(3%)

人件費や広告宣伝費の減少が寄与し、前年同期を上回る

- ▶ 前期のフレックス定年制度の特別運用の実施に伴い、人件費が大幅に減少
- ▶ 主に直営店にて、在庫消化を図るための割引販売の構成比が高まり、売上利益率が悪化

(単位：百万円)

売上収益	23/3期 3Q実績	24/3期 3Q実績	対23/3期 3Q		事業利益	23/3期 3Q実績	24/3期 3Q実績	対23/3期 3Q	
			増減額	増減率				増減額	増減率
第1ブランドグループ	28,809	27,158	▲1,651	▲5.7%	第1ブランドグループ	2,199	1,883	▲316	▲14.4%
第2ブランドグループ	15,777	14,733	▲1,044	▲6.6%	第2ブランドグループ	▲121	▲407	▲286	-
第3ブランドグループ	6,317	6,796	478	+7.6%	第3ブランドグループ	▲142	▲265	▲122	-
第4ブランドグループ	8,994	9,354	360	+4.0%	第4ブランドグループ	193	181	▲12	▲6.5%
その他売上・内部消去・調整など	10,499	10,479	▲21	▲0.2%	その他売上・内部消去・調整など	▲864	482	1,346	-
売上収益合計（外部売上のみ）	70,397	68,519	▲1,878	▲2.7%	事業利益（▲損失）合計	1,264	1,874	610	+48.2%
売上収益合計（内部売上含む）	72,161	70,162	▲1,999	▲2.8%					

参考9：24/3期 3Q ワコールインターナショナル（米国）の概況

売上収益

213億円

前年同期差:▲2億円(▲1%)  
(現地通貨ベース:▲6%)  
修正計画差:▲11億円(▲5%)

IO社は大幅に減収、米国ワコールは減収となるものの回復の兆し

- 米国ワコール：実店舗チャネル+1% ECチャネル▲1%（百貨店EC▲5% 専業EC▲7% 自社EC+5%）
- IO社：自社EC▲45% 卸売▲17% 直営店▲26%

事業利益

5億円

前年同期差:▲0.1億円(▲2%)  
(現地通貨ベース:▲7%)  
修正計画差:+1億円(+26%)

IO社の赤字幅は縮小するものの、前年同期並みの実績に留まる

- 米国ワコール：縫製工場における賃金の上昇や、材料入荷遅延に伴う生産性の低下により、売上利益率が悪化
- IO社：収益性改善の取り組みにより、赤字幅は縮小

(単位：千ドル)

		24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比	
		対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期		
チャネル	店舗	百貨店	▲9%	▲1%	▲22%	+1%	+2%	+3%	▲11%	+1%	52%
		アウトレット・直営店	+58%	▲5%	+54%	▲3%	▲36%	▲59%	+30%	▲19%	
		店舗計	▲8%	▲1%	▲21%	+1%	+2%	+2%	▲11%	+1%	
	EC	百貨店EC	+42%	+0%	+0%	▲8%	+6%	▲8%	+17%	▲5%	44%
		専業EC	▲1%	▲25%	+40%	▲20%	+68%	+58%	+29%	▲7%	
		自社EC	+85%	+7%	+83%	+5%	+53%	+2%	+74%	+5%	
	EC計	+43%	▲4%	+42%	▲6%	+41%	+11%	+42%	▲1%		
地域	米国	+13%	+2%	+0%	+0%	+14%	+6%	+9%	+2%	93%	
	カナダ	▲54%	▲68%	▲16%	▲29%	+86%	+10%	▲7%	▲33%	3%	
	他地域	+30%	▲7%	▲22%	▲40%	▲13%	▲39%	▲3%	▲29%	4%	

※各構成比は24/3期 累計の数値

	米国ワコール	IO社
売上収益	137,154	14,492
対23/3期 3Q	▲1%	▲40%
事業利益 (▲損失)	9,008	▲5,882
対23/3期 3Q	▲1%	(前期3Q ▲11,240)

ブランド名	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
WACOAL	+5%	▲1%	-6%	▲6%	+9%	+2%	+2%	▲2%	79%
B.tempt'd	+102%	▲17%	+41%	+8%	+94%	+10%	+75%	▲2%	10%
CW-X	+33%	+14%	+42%	+41%	+27%	+16%	+32%	+21%	1%
LIVELY	+23%	▲46%	+6%	▲31%	-15%	▲40%	+6%	▲40%	10%

参考10：24/3期 3Q ワコールヨーロッパの概況

売上収益

145億円

前年同期差:+5億円(+4%)  
(現地通貨ベース:▲6%)  
修正計画差:▲6億円(▲4%)

10月以降の英国・欧州での市況の悪化により現地通貨ベースで減収

- 9月に発生したサイバーインシデントによる出荷停止のマイナス影響を補うには至らず
- 地域別では北米は改善、英国・欧州は消費意欲の低下の影響もあり低調（英国▲2%、北米▲9%、欧州▲5%）

事業利益

10億円

前年同期差:▲5億円(▲33%)  
(現地通貨ベース:▲39%)  
修正計画差:+1億円(+13%)

減収影響を売上収益の改善や経費コントロールで吸収できず、現地通貨ベースで減益

- サイバーインシデントによる販売活動の停止から復旧。製造における効率の改善、物流での人件費や発送費の削減に努めたものの、減収影響を吸収できず

		24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比	
		対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期		
チャネル	店舗	百貨店	+21%	+7%	▲22%	▲18%	▲3%	▲3%	▲2%	▲4%	19%
		専門店	+8%	▲10%	▲27%	▲28%	+23%	+6%	▲1%	▲11%	46%
		直営店	▲26%	▲3%	▲27%	▲5%	▲39%	▲12%	▲30%	▲6%	4%
	EC	EC	+97%	+15%	+68%	▲3%	+40%	▲1%	+71%	+4%	31%
ブランド	Fantasia	+43%	+14%	▲5%	▲15%	+20%	+5%	+19%	+2%	35%	
	Freya	▲7%	▲16%	▲37%	▲31%	▲12%	▲5%	▲18%	▲18%	18%	
	Goddess	▲23%	▲33%	▲37%	▲33%	+13%	+28%	▲19%	▲19%	4%	
	Elomi	+67%	+7%	+33%	▲15%	+50%	+1%	+50%	▲3%	32%	
	Wacoal	+23%	▲3%	▲19%	▲7%	+4%	▲4%	▲1%	▲5%	11%	

※各構成比は24/3期 累計の数値

※ブランドの増減率・構成比は、インナーウェア・スウェーデンを合計した数値を記載

	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
英国	+42%	+10%	+1%	▲12%	+14%	▲5%	+20%	▲2%	37%
欧州	+27%	+0%	▲10%	▲4%	+7%	▲12%	+7%	▲5%	23%
北米	+13%	▲9%	▲17%	▲32%	+25%	+23%	+6%	▲10%	29%
その他	+32%	▲4%	▲9%	▲21%	+23%	+2%	+14%	▲8%	11%

## 参考11：24/3期 3Q 中国ワコールの概況

売上収益  
**78億円**

前年同期差：+4億円(+6%)  
(現地通貨ベース：+5%)  
修正計画差：▲10億円(▲11%)

### 感染症に対する厳格な行動制限の緩和後も想定を下回る回復に留まる

- 実店舗：行動制限緩和後も来店客数の戻りは弱く低調に推移（前年同期比+6% 20/3期3Q比▲34%）
- 他社EC：厳しい競争環境が続く中で低調に推移（前年同期比▲4% 20/3期3Q比▲34%）

事業損失  
**▲3億円**

前年同期差：+4億円  
(現地通貨ベース：+19百万元)  
修正計画差：+2億円

### 売上が計画を大幅に下回り、事業損失となる

- 売上の計画未達に伴う売上利益の減少を、販管費のコントロールで吸収できず、事業損失となる

		24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
		対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
チャンネル	実店舗	▲30%	+22%	▲35%	▲4%	▲39%	+0%	▲34%	+6%	76%
	他社EC	▲22%	+26%	▲30%	▲31%	▲45%	▲10%	▲34%	▲4%	23%
	自社EC	-	+71%	-	+19%	-	+46%	-	+48%	1%
ブランド	ワコール	▲28%	+24%	▲34%	▲8%	▲40%	▲3%	▲34%	+4%	90%
	サルート	▲13%	+28%	▲29%	▲17%	▲32%	+10%	▲24%	+6%	9%
	アンファイ	+10%	▲41%	▲35%	▲46%	▲69%	▲11%	▲52%	▲32%	1%

※構成比は24/3期 累計の数値。23/3期より、ピーチ・ジョン売上を除いて算出

※IFRS適用により、23/3期から3月決算のため、過去実績を集計し直して記載

## 資料12：24/3期 3Q その他アジアの概況

香港ワコール、ワコールインターナショナル香港、ワコールシンガポール、フィリピンワコール、ワコールインド  
(以下、工場) 大連ワコール、広東ワコール、ベトナムワコール、ミャンマーワコール、Aテック、Gテック、  
ほか1社の売上及び、ワコール事業（海外）の決算調整を含んだ数値

売上収益  
**68億円**

前年同期差：▲2億円(▲3%)  
修正計画差：+4億円(+7%)

### 多くの国で現地通貨ベースで前年同期を下回り推移

- 香港、シンガポール、フィリピン、インド等：為替影響がポジティブに働くも、現地通貨ベースでは前年同期を下回り推移
- Aテック・Gテック：グループ会社の売上不振に伴い発注が急減し、Aテック・Gテックともに減収

事業利益  
**8億円**

前年同期差：▲1億円(▲13%)  
修正計画差：+3億円(+49%)

### 為替影響や縫製工場の稼働時間調整による人件費の減少により増益を確保

	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 上期		24/3期 3Q		24/3期 累計	
	対20/3期	対23/3期								
香港ワコール	+8%	▲2%	▲1%	▲3%	+4%	▲3%	+8%	▲9%	+5%	▲5%
シンガポール	▲14%	▲21%	▲22%	▲19%	▲18%	▲20%	▲26%	▲12%	▲11%	▲17%
フィリピン	▲2%	▲11%	+36%	▲2%	+15%	▲6%	+18%	+1%	+6%	▲4%
インド	+329%	▲10%	+154%	▲15%	+226%	▲13%	+181%	+21%	+28%	▲3%
Aテック	+7%	▲5%	+3%	▲34%	+5%	▲19%	+16%	▲28%	+4%	▲22%
Gテック	▲19%	+19%	▲36%	▲19%	▲27%	▲0%	▲38%	▲41%	▲13%	▲14%

※IFRS適用により、23/3期から3月決算のため、過去実績を集計し直して記載

資料13：24/3期 3Q ピーチ・ジョンの概況

<b>売上収益</b> <b>81億円</b> <small>前年同期差:▲10億円 (▲11%)                  修正計画差:▲6億円 (▲7%)</small>	<b>新商品のプロモーションの効果が想定を下回り、前年同期・計画とも下回る</b> ▶ 有名タレントとのコラボレーション企画によって、新規顧客の獲得に注力したものの、想定を下回る ▶ 11月からは新システムによる決済手段の増加や新会員システムの導入により、顧客の囲い込みを図る
<b>事業利益</b> <b>3億円</b> <small>前年同期差:▲7億円 (▲74%)                  修正計画差:▲3億円 (▲57%)</small>	<b>減収影響や、経費増加により前年同期・計画とも下回る</b> ▶ 減収による売上利益の影響や、ECシステム投資に伴う経費の増加が影響し、減益となる

		24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
		対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
国内	通販事業	+4%	▲12%	▲22%	▲24%	▲11%	▲31%	▲10%	▲22%	34%
	店舗事業	+5%	▲3%	▲5%	▲5%	+5%	▲7%	+1%	▲5%	51%
	海外事業	+308%	-	-	-	-	+325%	+899%	+814%	1%
	その他事業	+34%	▲2%	+41%	+1%	+67%	+21%	+47%	+6%	14%

※構成比は、24/3期 累計の値です。

		24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計	
		対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期
海外	香港	▲21%	+13%	▲2%	+17%	+8%	▲8%	▲8%	+7%
	台湾 (店舗)	▲6%	+26%	▲2%	+11%	+25%	+12%	+4%	+16%
	台湾 (EC)	▲9%	▲18%	+26%	▲6%	+37%	+0%	+14%	▲9%
	台湾 (店舗+EC)	▲7%	+11%	+4%	+6%	+28%	+8%	+6%	+9%

※現地通貨ベースでの増減率

※各地域における直営店・ECの売上の増減率であり、連結子会社のPJ香港、PJ上海の売上増減率とは異なる

※上海PJは2022年11月にて営業を終了

資料14：24/3期 3Q 国内子会社の概況 (ルシアン・七彩・Ai)

ルシアン：得意先向けのPB商品の苦戦が影響

<b>売上収益</b> <b>19億円</b> <small>前年同期差:▲6億円 (▲24%)                  修正計画差:▲0.1億円 (▲1%)</small>	<b>事業損失</b> <b>▲0.7億円</b> <small>前年同期差:+2億円                  修正計画差:+1億円</small>
--	---

	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
インナー	▲42%	▲8%	▲29%	+4%	▲60%	▲40%	▲44%	▲14%	75%
刺しゅう	▲5%	▲7%	▲10%	+7%	▲3%	▲5%	▲6%	▲2%	12%
レース他	▲61%	▲12%	▲62%	▲31%	▲72%	▲23%	▲65%	▲24%	13%

※構成比は、24/3期 累計の数値を記載

七彩：レンタル、物販、内装工事事業が堅調

<b>売上収益</b> <b>51億円</b> <small>前年同期差:+4億円 (+8%)                  修正計画差:+4億円 (+8%)</small>	<b>事業損失</b> <b>▲0.3億円</b> <small>前年同期差:▲1百万円                  修正計画差:+1億円</small>
---	--

	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
レンタル事業	▲31%	+6%	▲30%	+1%	▲24%	+1%	▲28%	+3%	21%
物販事業	▲40%	▲27%	▲43%	▲22%	▲4%	+39%	▲30%	▲7%	15%
工事事業	+2%	+24%	▲49%	▲8%	▲5%	+11%	▲23%	+9%	64%

※構成比は、24/3期 累計の数値を記載

Ai (アイ)：旅行需要の回復などを受け増収

<b>売上収益</b> <b>24億円</b> <small>前年同期差:+2億円 (+11%)                  修正計画差:▲3百万円 (▲0.1%)</small>	<b>事業利益</b> <b>1.2億円</b> <small>前年同期差:+1億円                  修正計画差:+0.1億円</small>
---	--

	24/3期 1Q		24/3期 2Q		24/3期 3Q		24/3期 累計		構成比
	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	対20/3期	対23/3期	
リゾートウェア事業	▲30%	+26%	▲21%	+15%	▲31%	+41%	▲24%	+19%	69%
下着事業	▲11%	+4%	▲19%	▲1%	▲4%	+3%	▲12%	+2%	31%

※構成比は、24/3期 累計の数値を記載



参考17：24/3期 主要子会社別・通期計画（2023年11月9日発表・再掲）

為替レート	1\$	1£	1元
23/3期 実績	135.47	163.15	19.75
24/3期 当初計画	130.00	160.00	19.00
24/3期 修正計画	145.00	180.00	20.00

(単位：百万円)

		売上収益						事業利益 (▲損失)						営業利益 (▲損失)								
		23/3期 実績	24/3期 当初計画	24/3期 修正計画 (11月9日 発表)	対23/3期 実績 増減額	増減率	対24/3期 当初計画 増減額	増減率	23/3期 実績	24/3期 当初計画	24/3期 修正計画 (11月9日 発表)	対23/3期 実績 増減額	増減率	対24/3期 当初計画 増減額	増減率	23/3期 実績	24/3期 当初計画	24/3期 修正計画 (11月9日 発表)	対23/3期 実績 増減額	増減率	対24/3期 当初計画 増減額	増減率
ワコール事業 (国内)	ワコール	90,948	97,300	91,086	138	+0.2%	▲ 6,214	▲ 6.4%	▲ 157	2,000	300	457	-	▲ 1,700	▲ 85.0%	2,753	3,466	▲ 4,490	▲ 7,243	-	▲ 7,956	-
ワコール事業 (海外)	ワコール インターナショナル	28,014	28,760	30,309	2,295	+8.2%	1,549	+5.4%	620	689	600	▲ 20	▲ 3.2%	▲ 89	▲ 12.9%	▲ 9,448	689	▲ 6,789	2,659	-	▲ 7,478	-
	ワコールヨーロッパ	19,184	20,296	21,432	2,248	+11.7%	1,136	+5.6%	2,355	1,862	1,823	▲ 532	▲ 22.6%	▲ 39	▲ 2.1%	1,680	1,883	1,816	136	+8.1%	▲ 67	▲ 3.6%
	中国ワコール	10,365	15,390	12,588	2,223	+21.4%	▲ 2,802	▲ 18.2%	▲ 688	418	▲ 373	315	-	▲ 791	-	▲ 698	418	▲ 493	205	-	▲ 911	-
ビーチ・ジョン事業		11,918	12,600	12,100	182	+1.5%	▲ 500	▲ 4.0%	935	1,070	940	5	+0.5%	▲ 130	▲ 12.1%	915	710	600	▲ 315	▲ 34.4%	▲ 110	▲ 15.5%
その他	ルシアン	3,189	3,440	2,800	▲ 389	▲ 12.2%	▲ 640	▲ 18.6%	▲ 214	100	▲ 280	▲ 66	-	▲ 380	-	111	185	▲ 64	▲ 175	-	▲ 249	-
	七彩	6,196	7,441	7,112	916	+14.8%	▲ 329	▲ 4.4%	▲ 60	130	▲ 50	10	-	▲ 180	-	9	200	20	11	+122.2%	▲ 180	▲ 90.0%
	A i	2,608	3,190	2,959	351	+13.5%	▲ 231	▲ 7.2%	▲ 77	150	100	177	-	▲ 50	▲ 33.3%	▲ 65	153	96	161	-	▲ 57	▲ 37.3%
[海外主要子会社] (現地通貨ベース) (単位：米国：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千元)																						
ワコール事業 (海外)	ワコール インターナショナル	206,790	221,229	209,024	2,234	+1.1%	▲ 12,205	▲ 5.5%	4,568	5,300	4,140	▲ 428	▲ 9.4%	▲ 1,160	▲ 21.9%	▲ 69,743	4,900	▲ 48,817	20,926	-	▲ 53,717	-
	ワコールヨーロッパ	117,582	126,853	119,066	1,484	+1.3%	▲ 7,787	▲ 6.1%	14,431	11,631	10,128	▲ 4,303	▲ 29.8%	▲ 1,503	▲ 12.9%	10,295	11,764	10,089	▲ 206	▲ 2.0%	▲ 1,675	▲ 14.2%
	中国ワコール	524,832	810,005	629,381	104,549	+19.9%	▲ 180,624	▲ 22.3%	▲ 34,929	22,000	▲ 18,686	16,243	-	▲ 40,686	-	▲ 35,376	22,000	▲ 24,686	10,690	-	▲ 46,686	-

47

WACOAL HOLDINGS CORP.

WACOAL HOLDINGS CORP.

この資料に掲載されている情報のうち、将来の業績に関する見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現・達成を保証又は約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。これらの情報の掲載にあたっては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

48